

# 分布調査報告書(47)

2021年3月

山形県



## 序

本県では、これまで約5,000か所の遺跡が確認されており、舟形町西ノ前遺跡から出土した国宝土偶「縄文の女神」をはじめとする貴重な埋蔵文化財が発見されています。これらの埋蔵文化財は、地域の豊かな歴史や文化を生き生きと物語る県民共有の財産であり、地域に対する誇りや愛着の醸成に欠くことのできないものです。さらには、地域づくりや観光振興の資源としても期待されています。

道路や河川、農地の整備など、豊かで快適な生活を築くための開発事業が行われる場合には、開発と埋蔵文化財保護との調整を図ることが重要です。このため、開発事業に先立ち、踏査や試掘調査などの遺跡詳細分布調査を実施しています。

本報告書は、令和元年度に関係事業所からの事業計画聴取を経て、周知の遺跡や遺跡可能性地における46件の踏査・試掘調査・工事の立会調査を行った成果をまとめたものです。調査成果が埋蔵文化財保護行政の基礎資料となり、今後の遺跡の保護や開発計画の策定に役立つとともに、県民の皆様に広く活用されることを願います。

結びになりますが、調査に御協力いただいた関係各位に、厚く御礼申し上げます。

令和3年3月

山形県知事　吉村　美栄子

## 例　　言

- 1 本書は、令和元年度に山形県教育委員会が国庫補助を受けて実施した、令和2年度以降の県農林水産部・県県土整備部事業ほか関係遺跡に係る「遺跡詳細分布調査」の報告書である。
- 2 調査（令和元年度）は、山形県教育庁文化財・生涯学習課の竹田純子、稲村圭一、長橋至、岩崎恒平が担当した。本書の作成（令和2年度）は、山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財課の竹田純子、稲村圭一、岩崎恒平、山科樹生が担当した。
- 3 遺跡詳細分布調査では、第Ⅰ章に調査の目的と経緯を、第Ⅱ章に調査の概要一覧、試掘調査の結果、工事立会調査の結果を記した。第Ⅲ章には、令和元年度に市町村教育委員会他から通知・届出があった遺跡の範囲等の修正と新規発見遺跡の一覧を示した。
- 4 挿図の縮尺は任意であり、各図毎にスケールを示した。遺跡地図は国土地理院発行2万5千分の1の地図を使用し、使用地図の一覧は末尾に掲載した。
- 5 握図及び文中の記号は以下のとおりである。  
Tは試掘坑もしくはトレンチを表す。図中の赤色部分は遺構・遺物が検出されたことを示し、黒色部分は遺構・遺物が未検出であることを示す。  
遺跡位置図の黒枠に赤色部分は遺跡の範囲を示すものである。  
なお、以下に調査で使用した検出遺構の略記号を掲載する。  
S T : 竪穴建物跡 S D : 溝状遺構 S K : 土坑 S P : 柱穴跡・ピット
- 6 遺物写真の縮尺は任意である。
- 7 調査にあたっては、事業関係機関・市町村教育委員会及び地権者各位、地元関係者の御協力をいたしました。ここに記して感謝申し上げます。

# 目 次

## 第Ⅰ章 調査の目的と経緯

1 調査の目的	1
2 調査の経緯	1
3 調査の結果	2
令和元年度県内遺跡詳細分布調査工程表	2
令和元年度県内遺跡詳細分布調査一覧	3

## 第Ⅱ章 調査の概要

1 令和元年度県内遺跡詳細分布調査概要	6
No. 1～12(県農林事業関係遺跡)	18
No.13～16(県県土整備事業関係遺跡)	22
No.17～20(県県土整備・県子育て推進部・県教育庁事業関係遺跡)	23
No.21～24(県教育庁・県企業局・国土交通省事業局事業関係遺跡)	24
No.25～42(国土交通省事業関係遺跡)	25
No.43～46(東北農政局・東北森林管理局関係遺跡)	30
2 試掘調査の概要	
(1) 細谷館跡	31
(2) 新田平岡遺跡	35
(3) 成田地区	37
(4) 杉沢B遺跡	39
(5) 杉沢C遺跡	41
(6) 大城跡	48
(7) 藤田遺跡	50
(8) 須川地区H－2路線	52
(9) 須川地区M路線	59
(10) 須川地区I路線(月山遺跡)	62
(11) 須川地区J路線	67
(12) 一般国道13号新庄金山道路遺跡可能性地1	69
(13) 一般国道13号新庄金山道路遺跡可能性地2	71
(14) 一般国道13号新庄金山道路遺跡可能性地3	73
(15) 物見峠C遺跡	76

(16) 上長根遺跡	78
(17) 水ノ上遺跡	80
(18) 弥陀之上遺跡	82
(19) 水林下遺跡	85
3 工事立会調査の概要	
(1) 米沢城東二の丸跡	92
<b>第III章 遺跡の登録と修正</b>	
1 範囲修正	95
2 新規登録	95
令和元度範囲修正・新規登録遺跡一覧	95
掲載遺跡位置図使用図幅一覧	98
報告書抄録	

# 第Ⅰ章 調査の目的と経緯

## 1 調査の目的

令和元（2019）年度の遺跡詳細分布調査は、令和2年度以降に予定される県内の開発事業計画に先行して、埋蔵文化財包蔵地及び遺跡可能性地他について踏査及び試掘調査を行い、遺跡の有無、範囲、時代、種別などの内容を明らかにすることを目的として実施した。この調査によって得られた結果は、各開発計画との調整に資され、遺跡の保護と保存のために活用されるものである。

なお、山形県教育委員会で行う遺跡詳細分布調査は、以下の四つに区分している。

### （1）踏査・現地確認調査（A調査）

開発事業計画の予定地内などにおいて踏査を行い、遺跡の所在や範囲の確認をする。事業計画区域と遺跡との平面的な関係を確認する調査である。

### （2）試掘調査・遺跡確認調査（B調査）

坪掘りやトレンチ掘りによる調査を行い、遺構や遺物の平面的な分布範囲や遺構確認面までの深さ等を把握して、遺跡内容の情報を収集する調査である。

### （3）記録保存のための発掘調査（C調査）

踏査や試掘調査の結果、遺跡の遺存状況が良好でない場合や、遺跡の開発事業にかかる面積が狭小な場合、あるいは事業区に接する程度等の場合に、必要に応じて実施する記録保存のための発掘調査である。

### （4）工事立会調査

開発事業による遺跡への影響が軽微な場合や開発面積が狭小な場合に、工事に立ち会って実施する調査である。この調査によって遺構や遺物が発見された場合には、記録保存を行う。

## 2 調査の経緯

山形県教育委員会では、例年5月～6月に開発関係機関に今後の事業計画についての照会を行う。回答を受けて、7月に事業内容の聴取を実施して、事業計画と埋蔵文化財包蔵地との関係について打合せを行っている。この結果に基づき必要に応じた分布調査を行い、事業との調整を図っている。その他、開発関係機関から提出された事業計画に基づく分布調査も随時行っている。

令和元年度の調査は、「令和元年度県内遺跡詳細分布調査一覧」（3頁）に示した各遺跡の調査を、平成31年4月から令和2年3月まで「令和元年度県内遺跡詳細分布調査工程表」（2頁）の工程で行うとともに、事業予定区内外における埋蔵文化財包蔵地の有無を確認するための踏査と試掘調査も併せて実施した。

なお、令和元年度に県教育委員会及び市町村教育委員会が新たに発見した遺跡（令和元年度登録遺跡）、範囲等を訂正した遺跡は、第Ⅲ章に示した。

調査の内容と結果については、第Ⅱ章に表形式で概要をとりまとめ報告し、遺跡位置図と調査写真をその後に掲載した。分布調査の結果、開発事業実施にあたって記録保存のための発掘調査が避けら

れないものについては、さらに次節で試掘調査結果の詳細を報告した。

### 3 調査の結果

踏査、試掘調査、工事立会調査をした周知の遺跡と遺跡可能性地及び事業対象地区は46件である。事業ごとの内訳は、県農林水産部事業が12件、県県土整備部事業が6件、県子育て推進部事業が1件、県教育庁事業が2件、県企業局事業が1件、国土交通省事業が20件、東北農政局事業が2件、東北森林管理局事業が2件である。

調査の内訳は、踏査が26件、試掘調査が19件、工事立会が4件である。なお、踏査と試掘調査の両方を行った遺跡は1件、踏査と工事立会の両方を行った遺跡は2件ある。

このうち、開発事業にあたって記録保存のための発掘調査が避けられない遺跡は、農地整備事業（経営体育成型）に係る杉沢C遺跡（遊佐町）、一般国道7号遊佐象潟道路事業に係る水林下遺跡（遊佐町）の2件である。

令和元年度県内遺跡詳細分布調査工程表

事業区分	平成31・令和元(2019)年												令和2(2020)年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
踏査・試掘調査・工事立会	県農林水産部			■				■■	■	■		■■			
	県県土整備部					■	■	■■			■				
	県子育て推進部		■	■											
	県教育庁				■	■				■					
	県企業局		■												
	国土交通省	■				■	■	■	■■■			■			
	東北農政局							■							
	東北森林管理局		■		■										
令和2年度以後の埋蔵文化財包蔵地に係る開発事業計画の照会・聴取		■		■											
整理作業	出土品・記録の整理									■■■■					
	報告書原稿作成									■■■■					

## 令和元年度県内遺跡詳細分布調査一覧

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分		備考
					踏査	試掘	
県農林水産部	1	農地整備事業(経営体 育成型)	鶴子六沢地区	六沢遺跡(212-014) 玉野原B遺跡(212-015) 玉野原A遺跡(212-019) 原の内F遺跡(212-023) 鶴子中原遺跡(212-024) 原の内E遺跡(212-027) 原の内A遺跡(212-029)	○		
	2	農地整備事業(耕作放 棄型)	松沢地区	細谷館跡(207-015)		○	
	3	農地整備事業(経営体 育成型)	平岡3期地区		○		
	4	農地整備事業(経営体 育成型)	平岡1期地区	新田平岡遺跡(364-041)		○	
	5	農地整備事業(経営体 育成型)	平岡2期地区		○		
	6	農地整備事業(経営体 育成型)	真室川北部1期 地区		○		
	7	農地整備事業(経営体 育成型)	漆山地区	天王遺跡(213-075) 大仏遺跡(213-106) 西高堰古墳(213-239)	○		
	8	農業水利施設保全高度 化事業	上荻野地区		○		
	9	農地整備事業(経営体 育成型)	成田地区	遺跡可能性地1		○	
	10	農地整備事業(経営体 育成型)	常万地区	常万遺跡(422-046)			○
	11	農地整備事業(経営体 育成型)	杉沢前田地区	杉沢B遺跡(461-146)	○		
	12	農地整備事業(経営体 育成型)	杉沢前田地区	杉沢C遺跡(461-145) 遺跡可能性地	○		
県県土整備部	13	道路改良事業(交付金 (主)大江西川線道路 改良工事)	月布工区	大城跡(324-053)	○		
	14	交通安全道路事業(交 付金)(主)米沢猪苗代 線交差点改良工事	丸の内工区	米沢城東二の丸跡 (202-487)			○

## I 調査の目的と経緯

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分			備考
					踏査	試掘	記録保存	
県県土整備部	15	道路改築事業(交付金) (一)村山大石田線(飯称)村山北①IC県道改良工事	名取工区	清水北遺跡(208-104)		○		
	16	都市計画道路事業道形 黄金線	鶴岡市馬場町	鶴ヶ岡城跡(203-044)		○		○
	17	古佐川河川改修単独事業(河川自然災害防止)	河北町西里			○		
	18	角間沢引川河川整備助 事業(強制・交付金)	戸沢村大字戸沢	薬師館跡(367-040)		○		
県子育て 推進部	19	県立朝日学園建替	大江町大字藤田	藤田遺跡(324-014)		○	○	
県教育 庁	20	寒河江工業高等学校改 築整備事業	寒河江市緑町			○		
	21	庄内総合高等学校改 築整備事業	庄内町廿六木	五反田遺跡(422-008)		○		○
県企業局	22	明沢川発電所	小国町大字樋木			○		
国土交通省	23	最上川上流河川改修事 業(須川地区)	H-2路線			○		
	24	最上川上流河川改修事 業(須川地区)	M路線			○		
	25	最上川上流河川改修事 業(須川地区)	I路線	月山遺跡(201-245)		○		
	26	最上川上流河川改修事 業(須川地区)	J路線			○		
	27	最上川上流河川改修事 業(糠野目地区)	糠野目地区			○		
	28	一般国道13号新庄金 山道路	新庄市昭和～金 山町朴山			○		
	29	一般国道13号新庄金 山道路	新庄市昭和～金 山町朴山	遺跡可能性地1		○		
	30	一般国道13号新庄金 山道路	新庄市昭和～金 山町朴山	遺跡可能性地2		○		

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分			備考
					踏査	試掘	記録工事 保存立会	
国土交通省	31	一般国道 13 号新庄金山道路	新庄市昭和～金山町朴山	遺跡可能性地 3		○		
	32	一般国道 13 号金山道路	金山町朴山～飛ノ森		○			
	33	一般国道 13 号真室川雄勝道路	真室川町及位～湯沢市上院内		○			
	34	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町北目～吹浦	物見峠 C 遺跡 (461-027)		○		
	35	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	上長根遺跡 (461-065)		○		
	36	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	水ノ上遺跡 (461-068)		○		
	37	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	弥陀之上遺跡 (461-070)		○		
	38	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	水林下遺跡 (461-078)		○		
	39	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	三崎遺跡 (秋田県登録 214-37-19)		○		
	40	最上川直轄河川改修事業 (最上川中流)	戸沢村藏岡			○		
東北農政局	41	上川原沢第 2 砂防堰堤 (立谷沢砂防)	庄内町大字清川	清川館跡 (421-003)		○		
	42	仲村沢砂防堰堤 (赤川砂防)	鶴岡市大針			○		
東北森林管理局	43	国営かんがい排水事業	西野排水機場			○		
	44	国営かんがい排水事業	北楯大堰用水路 (放水路)			○		
	45	立木販売	庄内町 34 林班ち小班	倉手山館跡 (421-038)		○		
	46	松ノ沢治山工事 (溪間工)	小国町 71 林班い・は小班	城の平遺跡 (401-068)		○		

## 第Ⅱ章 調査の概要

### 1 令和元年度県内遺跡詳細分布調査概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	1	農地整備事業(経営体 育成型)	鶴子六沢地 区	六沢遺跡 (212-014)	尾花沢市六沢	集落跡	縄文時代
				玉野原B遺跡 (212-015)		遺物包蔵 地	縄文・平安 時代(原の 内A)
				玉野原A遺跡 (212-019)		遺物包蔵 地	
				原の内F遺跡 (212-023)		散布地	
				鶴子中原遺跡 (212-024)		散布地	
				原の内E遺跡 (212-027)		散布地	
				原の内A遺跡 (212-029)		集落跡	
県農林水産部	2	農地整備事業(耕作放 棄地型)	松沢地区	細谷館跡(207-015)	上山市細谷	城館跡	中世
	3	農地整備事業(経営体 育成型)	平岡3期地 区		真室川町及位		
	4	農地整備事業(経営体 育成型)	平岡1期地 区	新田平岡遺跡(364- 041)	真室川町平岡 字新田平岡	集落跡	縄文時代
	5	農地整備事業(経営体 育成型)	平岡2期地 区		真室川町及位		
	6	農地整備事業(経営体 育成型)	真室川北部 1期地区				
	7	農地整備事業(経営体 育成型)	漆山地区	天王遺跡(213-075)	南陽市漆山	散布地	奈良・平安 時代
				大仏遺跡(213-106)		散布地	縄文時代
				西高塙古墳(213-239)		古墳	古墳時代・ 中世

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
段丘	田	事業地は、丹生川左岸の段丘上。事業地に含まれる六沢遺跡、玉野原B遺跡、玉野原A遺跡、原の内F遺跡、鶴子中原遺跡、原の内A遺跡は、今後試掘調査を実施予定。また、原の内F遺跡、鶴子中原遺跡、原の内A遺跡に挟まれる部分も遺跡である可能性が高いことから、併せて試掘調査を実施予定。	無し	縄文土器	踏査
扇状地前縁部・河間低地	田	事業地内にトレンチを9箇所設定して調査を行ったところ、トレンチ4で柱穴を確認したが、新しい時期のものと判断された。調査の結果、細谷館跡に作らうと考えられる遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
谷底平野・氾濫原	田	踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。未踏査部分については、R3年度以降に踏査を実施予定。	無し	無し	踏査
谷底平野・氾濫原	田	事業地内にトレンチを4箇所設定して調査を行ったところ、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
谷底平野・氾濫原	田	事業地の内、H30に未踏査だった北部について踏査を実施した。踏査の結果、遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
谷底平野・氾濫原	田	対象地はJR奥羽本線及び駅西側、旧及位地区の水田部分。踏査の結果、過去の基盤整備事業で緩斜面が改田整地(切り土・盛土)されている状況であり、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
自然堤防	畑・果樹・宅地	大仏遺跡と西高堰古墳が事業地に隣接するが、事業予定地は一段低い沢地形のため、遺跡が事業地へ広がる可能性はなく、隣接する部分に対しての試掘調査は必要ない。事業予定地のうち、天王遺跡の範囲となる部分については、全面的に試掘調査が必要となる。この他、事業予定地内で遺物の分布が確認された5箇所を、それぞれ遺跡可能性地1~5とし、天王遺跡の範囲と併せて今後試掘調査を実施予定。	無し	土師器 須恵器	踏査

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	8	農業水利施設保全高度化事業	上萩野地区		川西町上萩野・上小松		
	9	農地整備事業(経営体育成型)	成田地区	遺跡可能性地1	長井市成田		
	10	農地整備事業(経営体育成型)	常万地区	常万遺跡(422-046)	庄内町余目	散布地	奈良・平安時代
	11	農地整備事業(経営体育成型)	杉沢前田地区	杉沢B遺跡(461-146)	遊佐町杉沢	集落跡	縄文時代、弥生時代
	12	農地整備事業(経営体育成型)	杉沢前田地区	杉沢C遺跡(461-145) 遺跡可能性地	遊佐町杉沢	集落跡	縄文時代、中世、近世
	13	道路改築事業(交付金)(主)大江西川線道路改良工事	月布工区	大城跡(324-053)	大江町月布	城館跡	中世
県県土整備部	14	交通安全道路事業(交付金)(主)米沢猪苗代線交差点改良工事	丸の内工区	米沢城東二の丸跡(202-487)	米沢市丸の内	城館跡、集落跡	中世、近世
	15	道路改築事業(交付金)(一)村山大石田線(仮称)村山北①IC県道改良工事	名取工区	清水北遺跡(208-104)	村山市名取	散布地	縄文時代、平安時代

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
河間低地	田	踏査箇所は事業地のうち、パイプライン計画地と地下かんがい区域である。踏査の結果、いずれの事業地においても遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
扇状地、自然堤防	田	対象地南東部から調査を実施した。トレント2箇所を設定して調査を実施したところ、旧河道にあたり、遺構・遺物は確認されなかった。調査中に当該地が来年度の事業実施地区ではなくなる旨、事業主体者から連絡を受けたため、その後の試掘調査は次年度以降に実施することとした。	無し	無し	試掘
河間低地	田	管排水路埋設部分のうち北側の約160m区間にについて工事立会を実施したところ、盛土直下に旧表土が薄く堆積し、その下層はグライ化した地山面となり、全体に過去のほ場整備で掘削・削平を受けていることが確認された。遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	工事立会
谷底平野	田	事業予定地内にトレント5箇所を設定して調査を実施したところ、トレント2において縄文土器片が多数出土したが、遺構は確認されなかった。そのほかのトレントでは、遺構・遺物とともに確認されず、トレント2で出土した遺物は流れ込みによるものと判断された。	無し	縄文土器	試掘
谷底平野	田	トレント16箇所を設定して調査を実施した結果、トレント10～13、15～17で遺構を検出し、トレント12・13・15・16で遺物が出土した。近世の遺構・遺物が確認された範囲はトレント10・11・13～15の一部、及び17を含む範囲となる。近世の遺構・遺物については、「北之坊組宝前坊」と関係する可能性があり、以上の範囲についてR2年度に発掘調査を実施予定。	土坑 ビット	縄文土器 陶磁器	試掘
河岸段丘、丘陵	山林、宅地	事業地は大城跡の北部にあたり、すぐ西側を月布川が北流する。事業地にトレント2箇所を設定して調査を実施した結果、各トレントとも遺構・遺物は確認されず、旧表土が削平されその上に盛土されている状況が確認された。	無し	無し	試掘
扇状地	宅地、道路用地	工事立会箇所のうち、部分的に遺構確認面が遺存しており、柱穴と思われる土色変化が数ヶ所確認された。工事による掘削は遺構確認面以下に及ばず、遺構は破壊されないため、平面図・写真記録等の作成後、着工を可とした。	無し	無し	工事立会
段丘	畑	現道拡幅に係る現地確認・踏査を実施した。事前に試掘調査が必要と考えられるが、拡幅幅が狭いことから、試掘調査の方法等について調整を要する。	無し	無し	踏査

## II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県 県土 整備部	16	都市計画道路事業道形 黄金線	鶴岡市馬場 町	鶴ヶ岡城跡 (203-044)	鶴岡市鶴岡	城館跡	
	17	古佐川河川改修単独事 業(河川自然災害防止)	河北町西里		河北町西里		
	18	角間沢川河川整備補助 事業(強制・交付金)	戸沢村大字 蔵岡	薬師館跡 (367-040)	戸沢村蔵岡	城館跡	
県 子育 て 推進 部	19	県立朝日学園建替	大江町大字 藤田	藤田遺跡 (324-014)	大江町藤田	窯跡	平安時代
県 教育 庁	20	寒河江工業高等学校改 築整備事業	寒河江市縁 町		寒河江市寒河 江		
	21	庄内総合高等学校改築 整備事業	庄内町廿六 木	五反田遺跡 (422-008)	庄内町廿六木	集落跡	平安時代
県 企業 局	22	明沢川発電所	小国町大字 綱木		小国町沼沢		
国 土 交通 省	23	最上川上流河川改修事 業(須川地区)	H-2路線		山辺町山辺		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
扇状地	公園	立会箇所は、二の丸大手門の北側に位置し、絵図によれば東側二の丸堀跡の中に該当する。掘削範囲は、地表面で約3.6m×3.6m、最深部では2m×2m四方。掘削深は約1.8m。 立会の結果、事業箇所は土層の堆積状況等から二の丸跡堀跡の範囲に該当するものと考えられたが、今回の掘削では堀跡の底面及び法面は確認できなかった。	堀跡	瓦片	工事立会
扇状地	河川	事業予定地の現地確認・踏査を実施した結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
自然堤防	河川	事業予定地のうち、用水路・橋門（R1工事）及び輪中堤（R2工事）部分の踏査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。輪中堤（R3以降工事）部分については、引き続き調整を行っていく。	無し	無し	踏査
段丘	学校用地	事業予定地のうち藤田遺跡の範囲に該当するのは北西の一部分のみであるが、遺跡隣接箇所であることから、その他の部分についても併せて試掘調査を実施した。トレーンチ5個所を設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査 試掘
段丘	学校用地	事業予定地は柴橋橋跡から北東方向への傾斜地であり、改築予定地であるグラウンドは敷地内でも最も低く、最大2.8m盛土されている。遺跡が立地する可能性は低いと考えられ、試掘調査は不要と判断された。	無し	無し	踏査
河間低地	学校用地	学校敷地のうちグランドの一部が五反田遺跡となっている。新校舎建設に際し、建設予定地が遺跡範囲に隣接するため、建設予定地に位置する屋外プール撤去工事に立会い、遺跡の有無を確認した。プール撤去後に、幅1.8m×長さ5mの範囲で掘削を行い、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、地表下140cmで地山を検出したが、グライ化しており、遺構・遺物は確認されなかった。五反田遺跡の範囲は、校舎建設予定地まで広がらないものと判断された。	無し	無し	踏査 工事立会
河岸段丘	山林	工事用道路予定地は、明沢川の河岸段丘上（中位段丘）に位置する。工事予定地のうち河岸段丘にかかる部分については、現在荒地や雑木、杉林となってしまっており、今回は現地への入り不可。地形から遺跡の所在する可能性があるため、工事計画を勘案しながら再度現地確認を要する。発電所予定地は大部分が崖に面しており、北側の水田部分については工事計画の確認が必要。	無し	無し	踏査
沖積地	河川	平成31年3月の試掘調査実施箇所において遺構が確認された範囲を拡大して詳細な試掘調査を実施した結果、トレーンチ16の下流側に設定した3本のトレーンチ全てで遺構・遺物が確認された。	堅穴建物跡、土坑、柱穴	土師器 須恵器	試掘

## II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
国土交通省	24	最上川上流河川改修事業(須川地区)	M路線		山形市志戸田		
	25	最上川上流河川改修事業(須川地区)	I路線	月山遺跡(201-245)	山形市中野	散布地	古墳時代 平安時代
	26	最上川上流河川改修事業(須川地区)	J路線		山形市大字船町		
	27	最上川上流河川改修事業(糠野目地区)	糠野目地区		高畠町夏茂、 上平林		
	28	一般国道13号新庄金山道路	新庄市昭和～金山町朴山		新庄市昭和～ 金山町朴山		
	29	一般国道13号新庄金山道路	新庄市昭和～金山町朴山	遺跡可能性地1	金山町山崎		
	30	一般国道13号新庄金山道路	新庄市昭和～金山町朴山	遺跡可能性地2	金山町山崎		
	31	一般国道13号新庄金山道路	新庄市昭和～金山町朴山	遺跡可能性地3	金山町朴山		
	32	一般国道13号金山道路	金山町朴山～飛ノ森		金山町朴山～ 飛ノ森		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
沖積地	河川	路線内にトレンチ 6箇所を設定して調査を実施した結果、いずれのトレンチも盛土・擾乱層が認められ、遺構・遺物は確認されなかった。事業地内に遺跡は所在しないものと判断される。	無し	無し	試掘
沖積地	河川	路線内にトレンチ 5箇所を設定して調査を実施した結果、月山遺跡の範囲内となる T 3 では溝状遺構、土坑が複数検出され、遺構の覆土からは土師器片が出土した。また、T 5 では柱穴と考えられる土色変化が確認された。T 1・2・4 では擾乱等が認められ、遺構・遺物は確認されなかった。	溝状遺構、土坑、柱穴	土師器 須恵器	試掘
沖積地	河川	路線内にトレンチを 4 箇所を設定して調査を行った結果、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかった。当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	試掘
沖積地	河川	調査対象地は 3 箇所であるが、全て旧河道または現在の河道であり、遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
丘陵・谷底平野	田、畠、山林	踏査範囲は、新庄市昭和から金山町朴山までである。萬坊野遺跡の西側の段丘上を遺跡可能性地 1、萬坊野遺跡から旧流路を挟んだ対岸で縄文土器を探取したことから、当該地を遺跡可能性地 2 とした。金山道路遺跡可能性地 1 の南側に位置する当事業終点付近を遺跡可能性地 3 とした。	無し	縄文土器	踏査
段丘	田	事業地内に 3 箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
段丘	田	事業地内に 3 箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、表土から縄文土器片・頁岩の破片等が出土したほか、トレンチ 3 の 5 層から縄文土器片が出土したが、遺構は検出されず、流れ込みによるものと判断された。	無し	縄文土器	試掘
谷底平野・田氾濫原	田	事業地内に調査区を 6 箇所設定して調査を行った結果、各トレンチとも遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	試掘
谷底平野・田氾濫原	田	事業地は、金山町朴山の国道 344 号線の北側から主寝坂道路手前までである。国道 344 号線の北側の畑で土師器の小片を探取したことから、当該地を「遺跡可能性地 1」とした。また、基地局がある台地上の事業用地を「遺跡可能性地 2」とし、今後試掘調査を実施予定。	無し	土師器	踏査

## II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
国土交通省	33	一般国道 13 号真室川雄勝道路	真室川町及位～湯沢市上院内		真室川町新及位		
	34	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町北目～吹浦	物見峠 C 遺跡 (461-027)	遊佐町吹浦字物見峠	集落跡	縄文時代
	35	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	上長根遺跡 (461-065)	遊佐町吹浦字上長根	散布地	平安時代
	36	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	水ノ上遺跡 (461-068)	遊佐町吹浦字水ノ上	散布地	縄文時代、平安時代
	37	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	弥陀之上遺跡 (461-070)	遊佐町吹浦字弥陀之上	散布地	縄文時代、平安時代
	38	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	水林下遺跡 (461-078)	遊佐町吹浦字水林下	集落跡	縄文時代
	39	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	三崎遺跡 (秋田県登録 214-37-19)	遊佐町吹浦字三崎	包蔵地	縄文時代
	40	最上川直轄河川改修事業 (最上川中流)	戸沢村藏岡	薬師館跡 (367-040)隣接地	戸沢村藏岡		
	41	上川原沢第 2 砂防堰堤 (立谷沢砂防)	庄内町大字清川	清川館跡 (421-003)	庄内町大字清川		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
山地・丘陵地	山林	踏査範囲は、主寛坂道路の北側（杭No.0～10）とJR奥羽本線及位駅付近（杭No.65～No.115）。踏査範囲以外は、トンネル工事となり、周知の埋蔵文化財包蔵地は所在しない。 国道13号の東側河岸段丘上の一帯は、地形から遺跡が所在する可能性があることから、当地を「遺跡可能性地」とし、今後試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
丘陵地	山林	事業地に4箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、トレンチ2において縄文土器片・石器剥片が出土した。当遺跡は丘陵の南端に位置しており、これら遺物は丘陵上からの流れ込みと考えられる。丘陵上には現在、周知の埋蔵文化財包蔵地は確認されていないが、遺跡が所在する可能性があることから、当地を「遺跡可能性地」とし、今後試掘調査を実施予定。	無し	縄文土器 石器剥片	試掘
段丘	畑	事業地に4箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
段丘	畑	事業地に5箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
段丘	宅地、畑、山林	事業地に3箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、トレンチ2の落ち込みから土師器片が出土した。またトレンチ1・3では遺物を含む土層を確認した。当地とその東・北側に遺跡が広がる可能性があることから、今後当該地について更に試掘調査を実施し、遺跡の広がりを確認する必要がある。	無し	土師器	試掘
山地・丘陵地	山林	事業地に14箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、トレンチ1・2、10～13において遺構・遺物が確認された。遺構・遺物が確認された範囲について、令和2年度に発掘調査を実施予定。	土坑・ビット・遺物包含層	土師器	試掘
丘陵地	山林	三崎遺跡は、秋田県教育委員会が県境を跨いで登録した遺跡である。遺跡に事業地が一部かかることから、遺跡とその隣接地について今後試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
自然堤防	宅地	事業予定地の踏査を実施した結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
山地・丘陵地	山林	中世城館及び山形県遺跡地図上でも遺跡範囲は記載されず、清川館跡の範囲はポイントとして記載されている。施工予定地は遺跡地図上のポイント付近であるが、工事用道路は沢の斜面にあたり、また堰堤は沢にある。事業地付近にある曲輪とも考えられる平坦部について、工事による影響はない。館跡の範囲は今回の踏査でも不明であった。	無し	無し	踏査

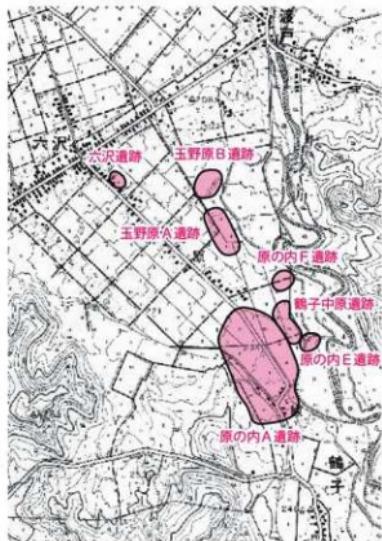
II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
国土交通省	42	仲村沢砂防堰堤(赤川砂防)	鶴岡市大針		鶴岡市大針		
東北農政局	43	国営かんがい排水事業	西野排水機場		酒田市広野		
	44	国営かんがい排水事業	北楯大堰用水路(放水路)		庄内町清川		
東北森林管理局	45	立木販売	庄内町 34林班ち小班	倉手山館跡(421-038)	庄内町科沢	城館跡	中世
	46	松ノ沢治山工事(渓間工)	小国町 71林班いは小班	城の平遺跡(401-068)	小国町大石沢	城館跡	

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
山地・丘陵地	山林	施工予定地の踏査を実施した結果、遺構・遺物は確認されず、事業予定地内に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
谷底平野・田氾濫原	田	既存排水機場の改修であるが、排水路の対岸に新たに建設するもの。排水機場・遊水池を建設し、農道の切り回しを行う。踏査の結果、遺物・遺構は確認されなかった。	無し	無し	踏査
谷底平野・用悪水路	用悪水路	北橋大堰から最上川への既存放水路を改修するもの。改修対象は、放水工ゲート・樋管4・枠3であり、放水工ゲートは既存のものより若干広がる。現地は清川館跡の範囲外であり、既存放水路設置時に一度掘削されていることから考えても事業実施にあたり問題ではなく、文化財保護法に係る手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
山地	山林	事業予定地と隣接する倉手山館跡の位置関係を現地で確認した。事業予定地は遺跡より一段高い山地となり、伐採および伐採材の運び出しは遺跡外で行なわれることを確認した。	無し	無し	踏査
山地	山林	遺跡の麓を流れる沢に流木対策用の堰堤を設置するもの。遺跡範囲に該当する部分は2箇所程度。工法は堰堤設置のため、沢両側と底を掘削し、その後、堰堤を設置。工事はR2年5～6月頃の予定。工事着手前に94条通知の提出必要。慎重工事の勧告予定。	無し	無し	踏査

## II 調査の概要

\* 位置図・図版の番号は分布調査概要の番号と一致する



1 鶴子六沢地区関連遺跡



1 六沢遺跡（北西から）



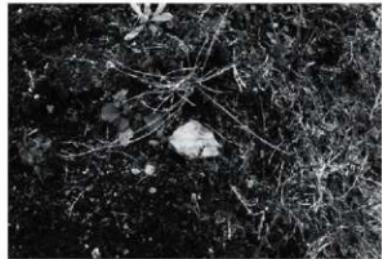
1 玉野原B遺跡（北西から）



1 玉野原A遺跡（北西から）



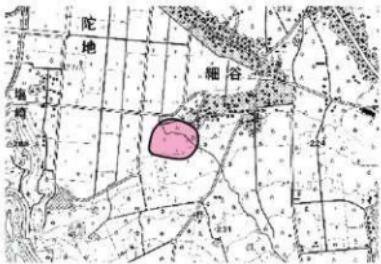
1 原の内A遺跡（南東から）



1 鶴子中原遺跡遺物散布状況



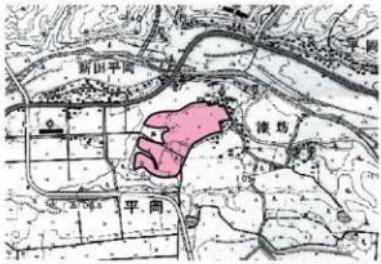
1 鶴子六沢地区採取遺物



2 細谷館跡



2 細谷館跡(北から)



3 平岡3期地区



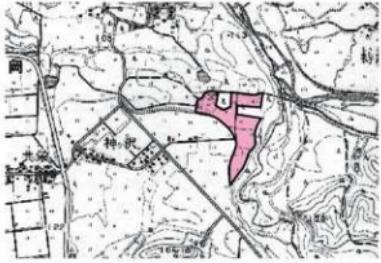
3 平岡3期地区(西から)



4 新田平岡遺跡



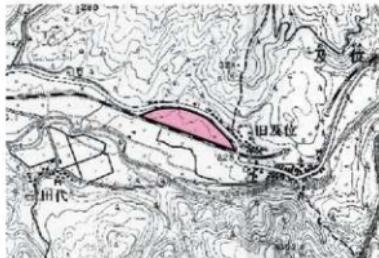
4 新田平岡遺跡(南東から)



5 平岡2期地区



5 平岡2期地区(北西から)



6 真室川北部 1期地区



6 真室川北部 1期地区(西から)



7 添山地区



7 天王遺跡(南東から)



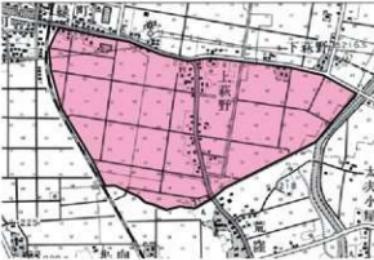
8 大仏遺跡(北西から)



8 西高塙古墳(西から)



8 添山地区採取遺物



8 上萩野地区



8 上戸野地区(北東から)



9 成田地区遺跡可能性地1



9 成田地区遺跡可能性地1(南から)



10 常万遺跡



10 常万遺跡(西から)



11・12 杉沢前田地区



11 杉沢B遺跡(南東から)



12 杉沢C遺跡(南から)



13 大城跡



13 大城跡(西から)



14 米沢城東二の丸跡



14 米沢城東二の丸跡(西から)



15 清水北遺跡



15 清水北遺跡(北から)



16 鶴ヶ岡城跡



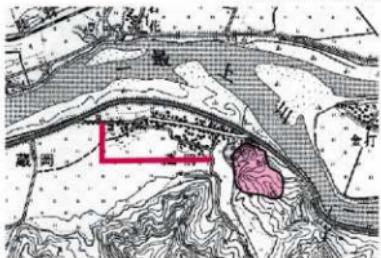
16 鶴ヶ岡城跡(南西から)



17 古佐川河川改修単独事業



17 古佐川河川改修単独事業(西から)



18 薬師館跡



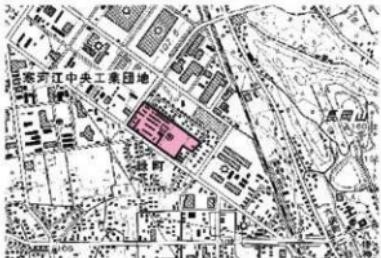
18 薬師館跡(西から)



19 藤田遺跡



19 藤田遺跡(東から)



20 寒河江工業高等学校改築整備



20 寒河江工業高等学校改築整備(南東から)



21 五反田遺跡



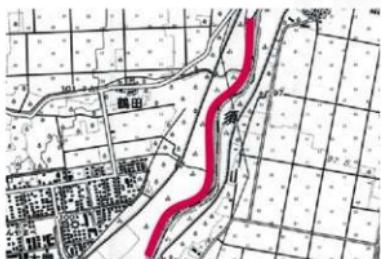
21 五反田遺跡(北西から)



22 明沢川発電所



22 明沢川発電所(西から)



23 須川地区H-2路線



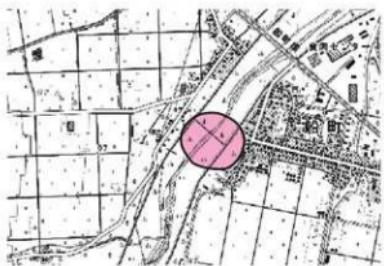
23 須川地区H-2路線(北から)



24 須川地区M路線



24 須川地区M路線(南から)



25 須川地区 I 路線 月山遺跡



26 須川地区 J 路線



25 須川地区 I 路線 月山遺跡 (北から)



26 須川地区 J 路線 (北から)



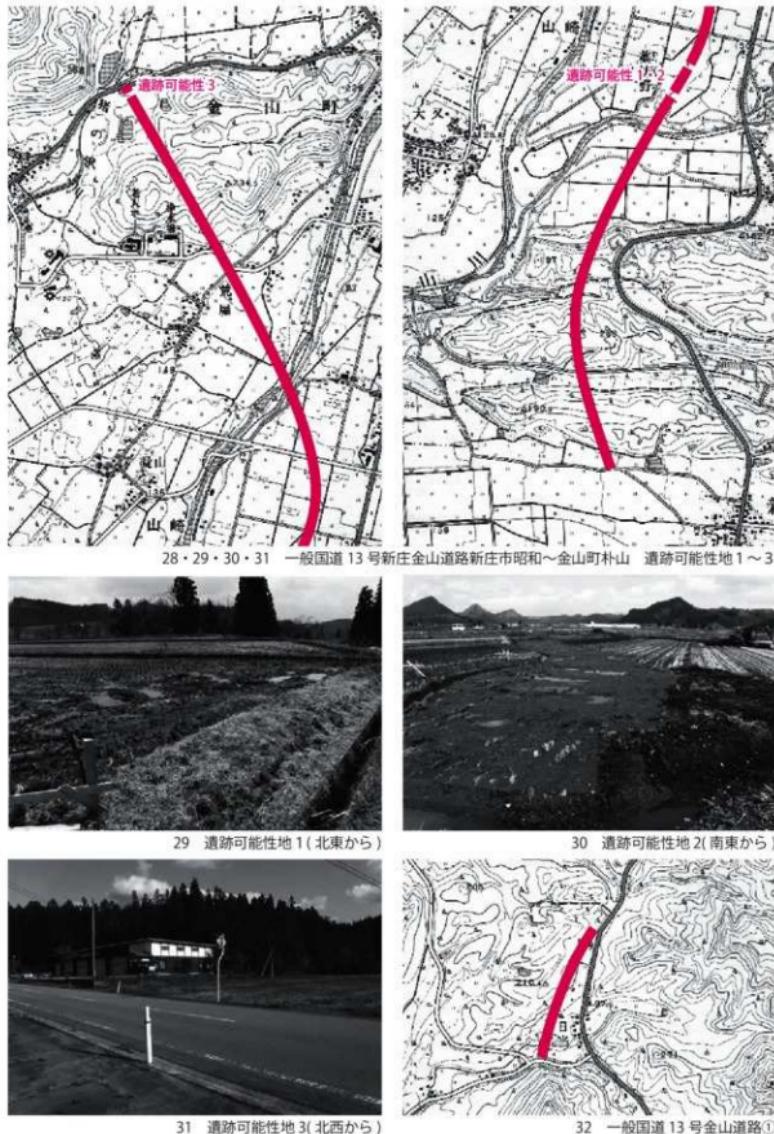
27 糸野目地区



27 糸野目地区① (南東から)



27 糸野目地区② (南西から)





32 一般国道 13 号金山道路遺跡可能性地③



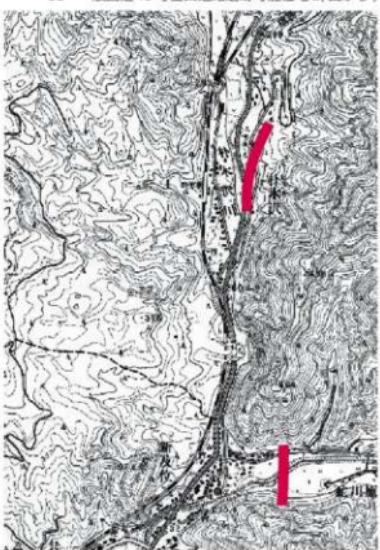
32 一般国道 13 号金山道路遺跡可能性地 1( 南西から )



32 一般国道 13 号金山道路遺跡可能性地 2( 西から )



32 一般国道 13 号金山道路 採取遺物



33 一般国道 13 号真室川雄勝道路



33 一般国道 13 号真室川雄勝道路 ( 南から )



33 一般国道 13 号真室川雄勝道路遺跡可能性地 ( 北東から )

## II 調査の概要



34 物見峠跡



34 物見峠跡(南東から)



35 上長根跡、36 水ノ上跡、37 弥陀之上跡



35 上長根跡(南から)



36 水ノ上跡(北西から)



37 弥陀之上跡(西から)



38 水林下跡



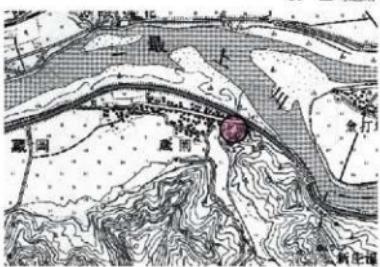
38 水林下跡(北西から)



39 三崎遺跡



39 三崎遺跡(西から)



40 最上川直轄河川改修事業



40 最上川直轄河川改修事業(北から)



41 清川館跡



41 清川館跡(南東から)



42 仲村沢砂防堰堤



42 仲村沢砂防堰堤(南東から)



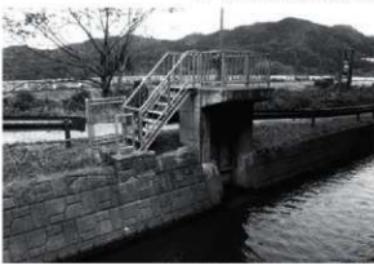
43 西野排水機場



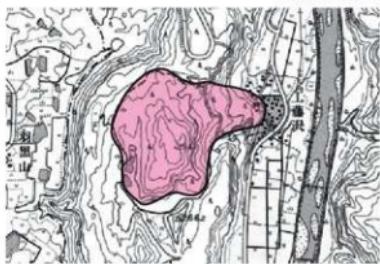
43 西野排水機場(東から)



44 北桙大堰用水路



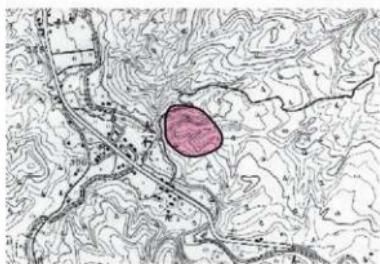
44 北桙大堰用水路(南西から)



45 倉手山館跡



45 倉手山館跡(東から)



46 城の平遺跡



46 城の平遺跡(南西から)

## 2 試掘調査の概要

### (1) 細谷館跡

所在 地 山形県上山市細谷字下細谷

調査 員 竹田純子 長橋至

調査期日 令和元年 10月9・18日

起因事業 農地整備事業（耕作放棄地型）松沢地区

遺跡立地 標高：約 217 m、立地：扇状地前縁部、河間低地、地目：田

試掘 区 事業予定地のうち、遺跡可能性地内にトレンチ 9箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 126.72m<sup>2</sup>

検出遺構 ピット

出土遺物 なし

所 見 『山形県中世城館遺跡調査報告書』第2集（平成8年・県教委刊行）によると、昭和32年刊行の「西郷村誌稿」に記載された館跡であるが、資料等は残されておらず、過去のほ場整備により消滅したとされている。ほ場整備が済んだ地区は、「県遺跡地図」で細谷館跡として表示している範囲の西側（松沢地区はほ場整備範囲外）にあたる。

現地確認の結果、事業地内で『山形県中世城館遺跡調査報告書』第2集に掲載の推測図と全体が合致する地形は確認できなかったが、事業実施前に県遺跡地図で細谷館跡として表示している範囲について試掘調査を実施することとした。

遺跡可能性地内にトレンチを9箇所設定し、試掘調査を行った。調査の結果、トレンチ4でピットを確認した。ピットの時期は不明だが、表土直下から掘り込まれていることから、細谷館跡に伴うものではなく、新しい時期のものと判断された。遺物は確認されなかった。

T1	(cm)	
1	-19	1.表土
2	-38	2.黒褐色粘質土
3	-64	3.砂礫層
4	-86	4.黒色粘土
5		5.黄褐色砂礫層

T3	(cm)	
1	-18	1.表土
2	-33	2.暗褐色粘質土
3	-43	3.灰色粘質土、炭化物を含む
4	-58	4.青灰色粘土
5		5.青灰色砂礫層

T2	(cm)	
1	-12	1.表土
2	-24	2.黒褐色シルト
3		3.黄褐色シルト

T4	(cm)	
1	-26	1.表土
2	-40	2.灰色シルト
3		3.灰色泥炭層

細谷館跡 土層図①



細谷館跡 トレンチ配置図

T5 (cm)

1	-24	1.表土
2	-50	2.暗褐色シルト、植物根・礫を含む
3	-80	3.黒褐色粘質土、しまり強い
4		4.黒色粘土、しまり強い

T8 (cm)

1	-35	1.表土
2	-55	2.黄褐色シルト、暗褐色土・砂が混じる
3	-105	3.青灰色砂礫層
4	-135	4.黒褐色粘土
5	-185	5.灰白色粘土
6		6.青灰色粘土

T6 (cm)

1	-14	1.表土
2	-30	2.黒色粘質土、礫を含む
3	-70	3.灰色粘土
4	-80	4.黒色粘土
5		5.黄褐色粘土

T9 (cm)

1	-40	1.表土
2	-50	2.暗褐色シルト、白色礫が混じる
3	-80	3.黒色粘土、青灰色土・礫が混じる
4	-116	4.青灰色土と黄褐色土が混じる、礫を含む
5		5.青灰色粘土

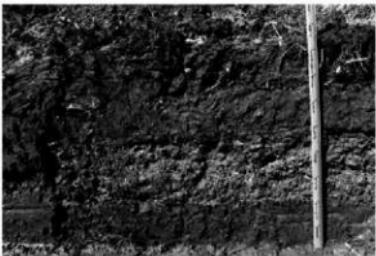
T7 (cm)

1	-30	1.表土
2	-65	2.褐色砂礫層
3	-90	3.灰色粘土
4	-100	4.褐色砂礫層
5		5.灰白色粘土

細谷館跡 土層図②



T 1 全景 ( 北から )



T 1 断面 ( 東から )



T 2 全景 ( 南から )



T 2 断面 ( 東から )



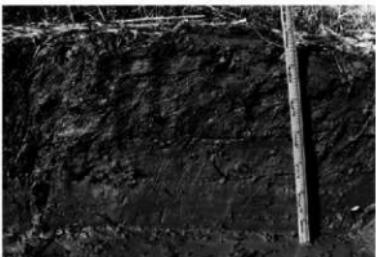
T 3 全景 ( 西から )



T 3 断面 ( 南から )



T 4 全景 ( 西から )



T 4 断面 ( 南から )



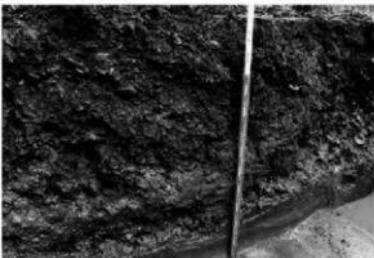
T5 全景 (東から)



T5 断面 (南から)



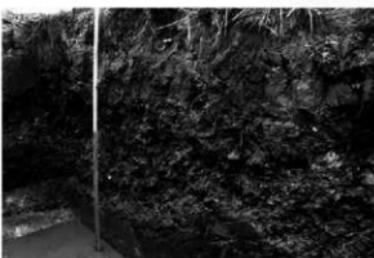
T7 全景 (西から)



T7 断面 (南西から)



T8 全景 (西から)



T8 断面 (北西から)



T9 全景 (西から)



T9 断面 (北西から)

## (2) 新田平岡遺跡

所 在 地 山形県真室川町大字平岡

調 査 員 竹田純子 長橋至

調査期日 令和元年6月20日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）平岡Ⅰ期地区

遺跡立地 標高：約83m、立地：谷底平野・氾濫原、地目：田・墓地

試 挖 区 事業予定地内にトレント4箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 43.2m<sup>2</sup>

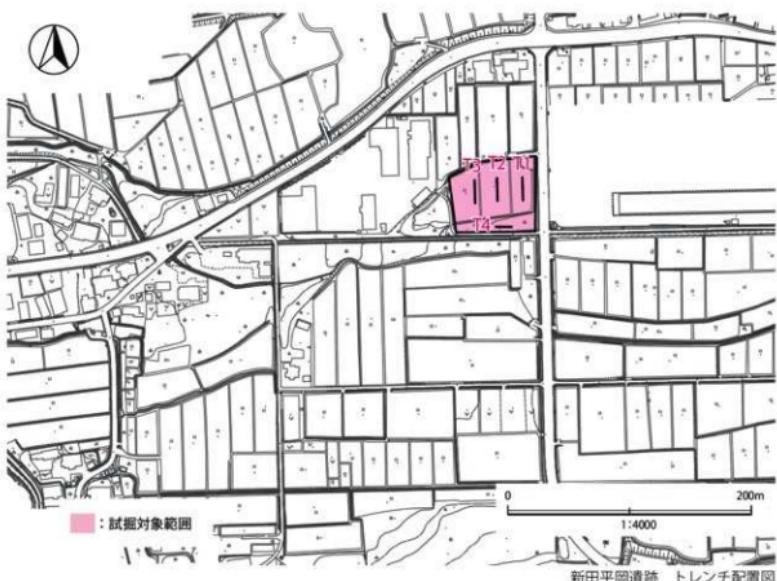
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時 代 縄文時代

所 見 事業予定地内にトレント1～4を設定し、調査を実施した。調査の結果、いずれのトレントでも遺構・遺物は確認されなかった。

以上の調査の結果から、今回の試掘調査範囲においては、新田平岡遺跡に関連する遺構は存在しないものと判断された。



T1 (cm)

1	-12
2	-42
3	-60

- 1.耕作土
- 2.暗褐色シルト、礫を多量に含む
- 3.黄褐色シルト

T2 (cm)

1	-15
2	-25
3	-50

- 1.耕作土
- 2.礫、しまり強い
- 3.黄褐色砂礫

T3 (cm)

1	-10
2	-30
3	-60

- 1.耕作土
- 2.礫、しまり強い
- 3.褐色砂礫

T4 (cm)

1	-20
2	-40
3	-65

- 1.旧耕作土
- 2.暗褐色シルト、礫を含む
- 3.黒色土、礫を含む

新田平岡遺跡 土層図



T1全景(南から)



T1断面(東から)



T3全景(南から)



T3断面(東から)



T4全景(東から)



T4断面(南から)

## (3) 成田地区 遺跡可能性地 1

所在地 山形県長井市成田

調査員 竹田純子 長橋至

調査期日 令和元年 10月 24 日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）成田地区

遺跡立地 標高：約 200m、立地：河岸低地、地目：田

試掘区 事業予定地内にトレント 2箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 48.0m<sup>2</sup>

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 試掘対象地は、平成 28 年度に実施した踏査で土器片を採取している。飯沢北館跡の南西部が遺跡可能性地 1 に重複する。事業予定地内にトレント 2箇所を設定し、調査を実施した。試掘調査の結果、トレント 1 では旧河川を検出したが、遺物は確認されなかった。トレント 2 では遺構・遺物は確認されなかった。

試掘調査の最中に、事業主体者より当地の場整備事業が来年度ではなく再来年度になる旨の連絡を受けたため、水田基盤層を破壊することがないよう、試掘調査は中止した。

当地については、事業実施前に既に試掘調査を実施する。



T1 (cm)		
1	-30	1.耕作土
2	-40	2.暗褐色シルト
3	-55	3.黒褐色シルト、2層との間に黄褐色 シルトブロックが混じる
4	-70	4.黒褐色シルトと青灰色砂が混じる
5		5.青灰色砂

T2 (cm)		
1	-10	1.耕作土
2	-25	2.黒褐色シルト、黄褐色シルト ブロックが混じる
3	-40	4.黒褐色シルト
4		5.青灰色砂

成田地区遺跡可能性地 土層図



試掘調査実施状況（南から）



T 1 全景（南から）



T 1 断面（東から）



T 1 旧河道検出状況（南から）



T 2 全景（北から）



T 2 断面（西から）

## (4) 杉沢B遺跡

所在地 山形県遊佐町杉沢

調査員 竹田純子 長橋至 岩崎恒平

調査期日 令和元年 11月 5日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）杉沢前田地区

遺跡立地 標高：約 78 m、立地：谷底平野、地目：田

試掘区 事業予定地内にトレント 4箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

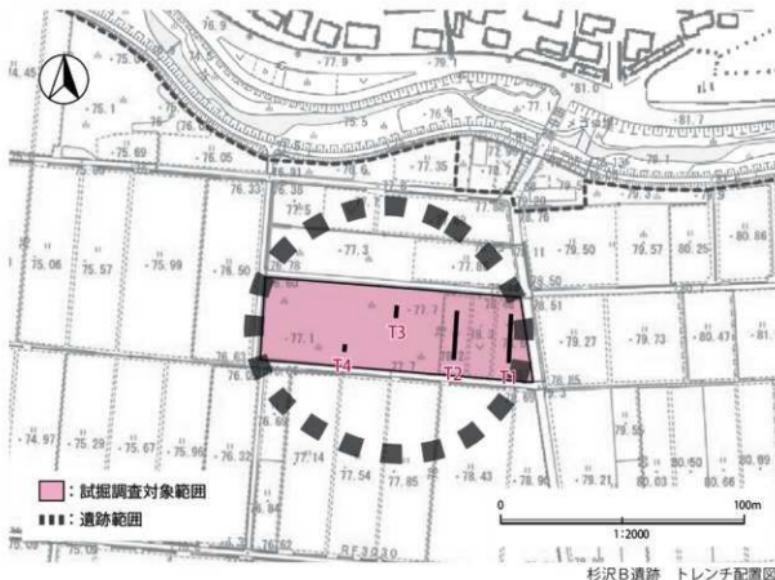
試掘面積 76.8m<sup>2</sup>

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 縄文時代、弥生時代

所見 事業予定地のうち杉沢B遺跡の一部について試掘調査を実施した。事業予定地にトレントを4箇所設定して調査を行ったところ、いずれのトレントにおいても遺構・遺物は確認されなかった。トレント3・4では粘土層が確認され、安定した地盤ではなかったと考えられる。今回の試掘調査範囲では、杉沢B遺跡に関連する遺構・遺物は確認されなかったが、次年度に今回調査地の西・北西側について試掘調査を実施予定。



## II 調査の概要

T1	(cm)	
1	-10	1.褐灰色シルト（表土）
2	-55	2.にぶい黄褐色砂質シルト
3	-80	3.にぶい黄褐色砂質シルト、酸化鉄・ φ5~10cmの礫を含む（地山）

T2	(cm)	
1	-10	1.褐灰色シルト（表土）
2	-15	2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-40	3.黄灰色シルト、炭・φ～5cmの 礫を含む
4	-50	4.黄灰色シルト、3層より明るく、し まり強い、φ5～20cmの礫を含む
5	-	5.浅黄色砂質シルト、酸化鉄を含む

T3	(cm)	
1	-20	1.にぶい黄橙色粘土
2	-60	2.褐灰色粘土、φ10～30cmの礫を 含む
3	-	3.褐灰色粘土

T4	(cm)	
1	-20	1.にぶい黄橙色粘土
2	-70	2.褐灰色粘土、砂を含む
3	-80	3.青灰色粘土

杉沢B遺跡 土層図



T 1 全景 ( 北東から )



T 1 断面 ( 西から )



T 2 全景 ( 北から )



T 2 断面 ( 東から )



T 4 全景 ( 北から )



T 4 断面 ( 西から )

## (5) 杉沢C遺跡

所在地 山形県遊佐町杉沢

調査員 竹田純子 稲村圭一 長橋至 岩崎恒平

調査期日 令和元年11月15・21日、12月9日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）杉沢前田地区

遺跡立地 標高：約78m、立地：谷底平野、地目：田

試掘区 事業予定地に17箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 228.75m<sup>2</sup>

検出遺構 土坑、柱穴、遺物包含層

出土遺物 繩文土器、近世陶磁器

時代 一

所見 試掘対象地は庄内熊野川左岸の休耕田である。事業予定地にトレンチを17箇所設定して調査を行ったところ、トレンチ10・11・12・13・15・16・17で遺構を検出し、トレンチ12・13・15・16で遺物が出土した。

遺構は、トレンチ13では土坑2基（時期不明）、トレンチ15では、縄文時代の包含層、ピット（柱穴）4基（時期不明）、トレンチ17では、土坑2基とピット4基（いずれも時期不明）を検出した。遺物は、トレンチ12・13・15・16より陶磁器（近世）、トレンチ15・16より縄文土器が出土した。

近世の遺構・遺物が確認された範囲は、絵図「遊佐郷石辻組 御黒印地寺社上寺」に記載のある「北之坊組宝前坊」にあたる可能性が高い。「北之坊組宝前坊」は鳥海修驗の拠点となる藏岡龍頭寺衆徒三十三坊の内のひとつであり、延宝5年（1677）「庄内寺領記」にはその名がすでに記載されている坊である。

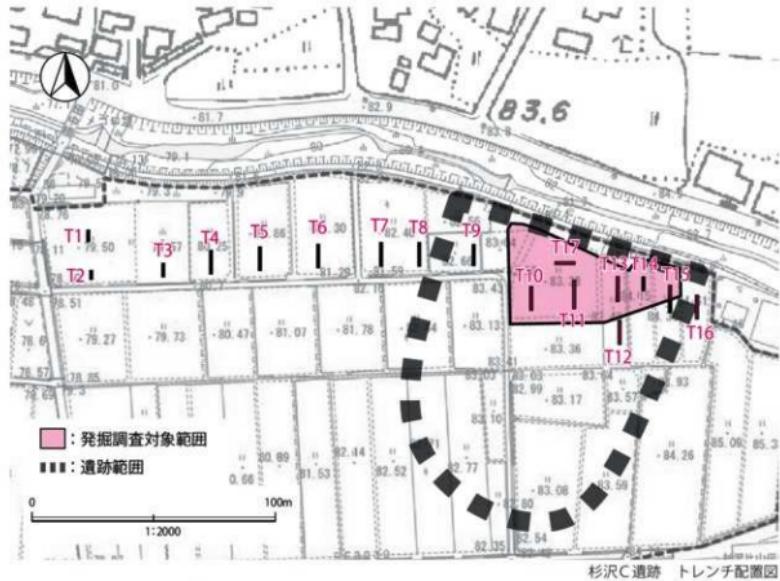
近世の遺構・遺物が確認された範囲はトレンチ10・11・13～15の一部、及び17を含む範囲となる。近世の遺構・遺物については、「北之坊組宝前坊」と関係する可能性があるため、当該範囲については令和2年度に発掘調査を実施予定。



T1全景(西から)



T1断面(南から)



T 3 全景(西から)



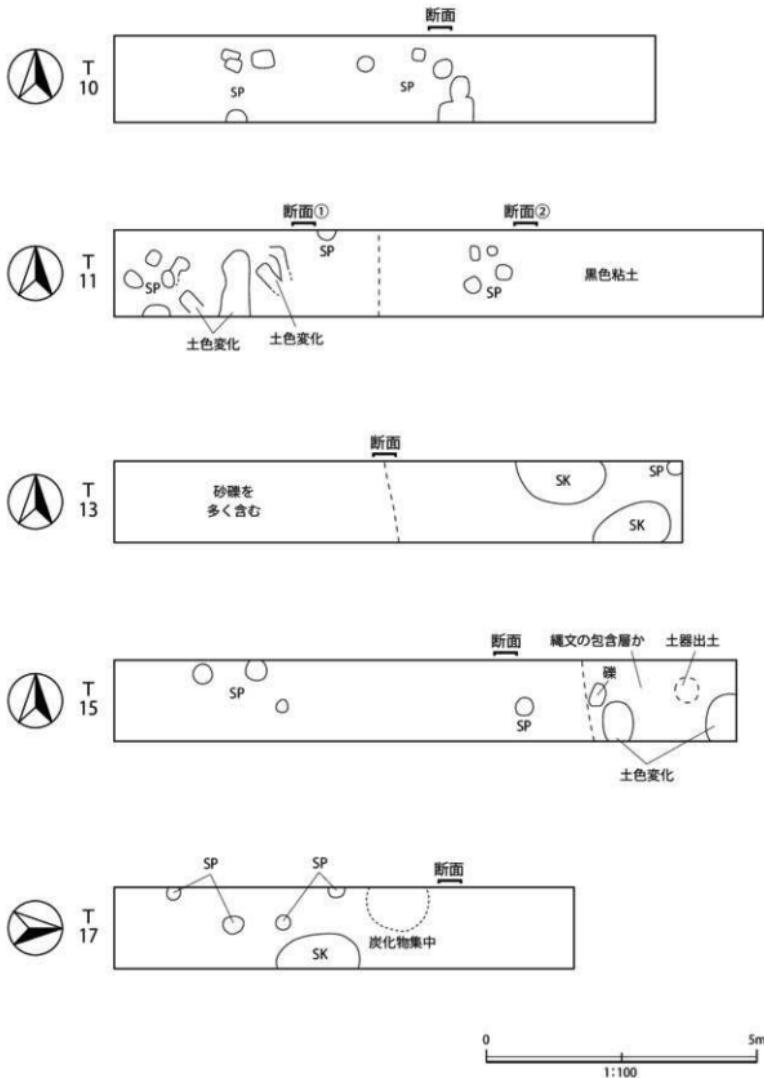
T 3 断面(南から)



T 5 全景(西から)



T 5 断面(南から)



杉沢C遺跡 遺構検出平面図

## II 調査の概要

T1 (cm)	
1	70
2	90
3	140
4	170
5	

- 1.客土
- 2.青灰色粘土
- 3.黒褐色土
- 4.暗褐色粘質土
- 5.褐色土（砂礫混入）

T2 (cm)	
1	70
2	90
3	120
4	

- 1.客土
- 2.青灰色粘土
- 3.黒褐色土
- 4.砂礫層（地山）

T3 (cm)	
1	30
2	40
3	55
4	75
5	

- 1.客土
- 2.褐灰砂質土
- 3.青灰色粘土
- 4.黒褐色土
- 5.褐色土（地山）

T4 (cm)	
1	20
2	35
3	60
4	

- 1.客土
- 2.暗褐色土
- 3.褐色砂質土
- 4.褐灰色粘土

T5 (cm)	
1	15
2	30
3	

- 1.客土
- 2.褐色粘質土
- 3.褐色砂質土

T6 (cm)	
1	20
2	45
3	

- 1.客土
- 2.暗褐色粘質シルト
- 3.褐色砂質土

T7 (cm)	
1	15
2	25
3	30
4	

- 1.客土
- 2.暗褐色シルト
- 3.暗褐色シルト、褐灰色シルト混じる
- 4.褐灰色砂質土

T8 (cm)	
1	10
2	25
3	

- 1.客土
- 2.暗褐色シルト
- 3.褐色砂質土

T9 (cm)	
1	20
2	25

- 1.客土
- 2.褐色砂質土

T10 (cm)	
1	20
2	27

- 1.客土
- 2.褐色砂質土

T11 (cm)	
1	20
2	30

- 1.客土
- 2.褐色砂質土

T12 (cm)	
1	20
2	30
3	40
4	

- 1.客土
- 2.褐灰色土、炭化物を少量含む
- 3.黑色粘質土
- 4.黑色土

T13 (cm)	
1	30
2	55
3	

- 1.客土
- 2.褐灰色土、炭化物を少量含む
- 3.黑色粘質土

T14 (cm)	
1	15
2	30
3	150
4	

- 1.客土
- 2.褐灰色土、炭化物を少量含む
- 3.黄褐色土、粘土・砂礫を含む
- 4.砂礫層

T15 (cm)	
1	15
2	25
3	45
4	

- 1.客土
- 2.赤褐色土、酸化鉄を多量に含む
- 3.褐灰色土、炭化物を少量含む
- 4.褐色砂礫層

T16 (cm)	
1	30
2	65
3	80
4	

- 1.客土
- 2.褐灰色土と黒褐色土が混じる
- 3.炭化物を含む
- 4.黒褐色土、炭化物を少量含む

T17 (cm)	
1	30
2	50
3	

- 1.客土
- 2.黒褐色土、炭化物を含む
- 3.褐灰色粘質土、炭化物を少量含む



T7 全景(南から)



T7 断面(西から)



T8 全景(南から)



T8 断面(西から)



T9 全景(南から)



T9 断面(西から)



T10 造構検出状況(北西から)



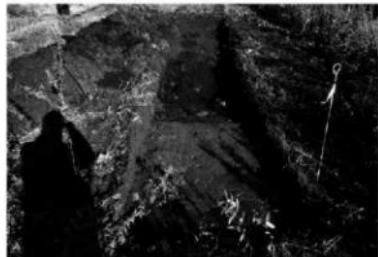
T10 断面(西から)



T 11 全景 (南から)



T 11 断面 (西から)



T 12 全景 (西から)



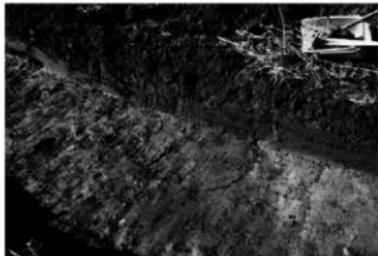
T 12 断面 (南から)



T 13 全景 (東から)



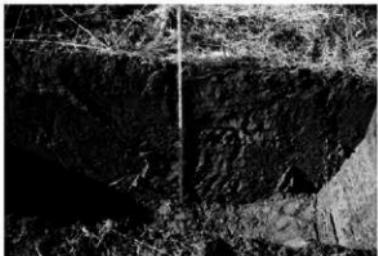
T 13 断面 (南から)



T 13 土坑検出状況 (南東から)



T 14 全景 (西から)



T 14 断面 (西から)



T 15 全景 (西から)



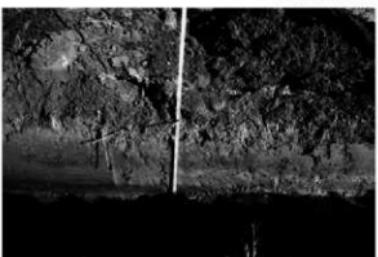
T 15 遺構検出状況 (南から)



T 15 断面 (南西から)



T 16 全景 (西から)



T 16 断面 (南から)



T 17 全景 (北から)



T 17 遺構検出状況 (西から)

## (6) 大城跡

所在地 山形県大江町月布

調査員 竹田純子 長橋至

調査期日 令和元年8月26日

起因事業 道路改築事業（交付金）（主）大江西川線道路改良工事月布工区

遺跡立地 標高：195m、立地：河岸段丘・丘陵、地目：山林・宅地

試掘区 事業予定地に2箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 35.2m<sup>2</sup>

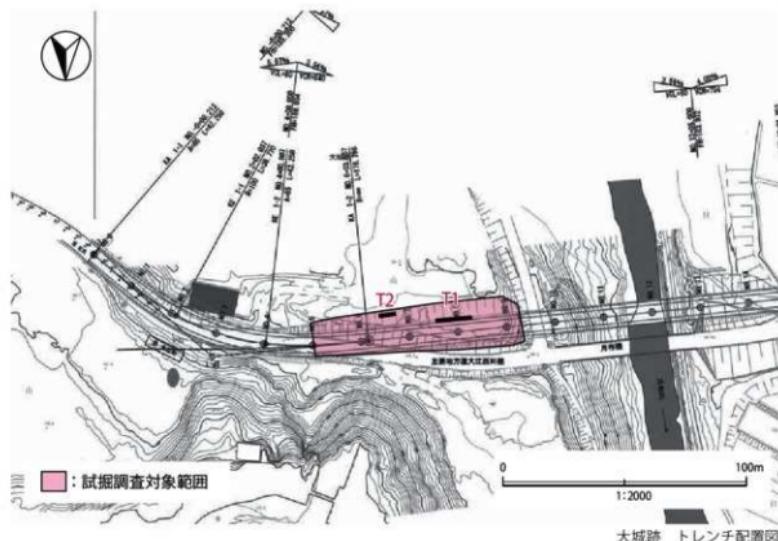
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 中世

所見 当地は、大城跡の北部にあたり、すぐ西側を月布川が北流する。企業宿舎の跡地であり、現在は部分的に碎石が敷かれている。事業地にトレンチを2箇所設定し、調査を行ったところ、各トレンチとも遺構・遺物は確認されなかった。また、土層の堆積状況から旧表土が削平され、その上に盛土されている状況が確認された。

以上の調査の結果から、今回の試掘調査範囲においては、大城跡に関連する遺構は存在しないものと判断された。



T1 (cm)

1	-32	1.表土
2	-36	2.灰白色土(盛土)
3	-46	3.黄褐色土に礫が混じる(盛土)
4	-62	4.暗褐色土に礫が混じる(盛土)
5	-84	5.黄褐色土に脆い礫が多量に混じる (岩盤)

T2 (cm)

1	-9	1.表土
2	-33	2.暗褐色土・灰白色土・黄褐色土が 混じる、礫が多量に混じる(盛土)
3	-45	3.黄褐色土に脆い礫が多量に混じる (岩盤)



試掘対象地(東から)



試掘調査実施状況



T1全景(西から)



T1断面(北から)



T2全景(西から)



T2断面(北から)

(7) ~~藤田~~ 遺跡

所在地 山形県大江町藤田

調査員 長橋至 岩崎恒平

調査期日 令和元年7月19日

起因事業 県立朝日学園整備

遺跡立地 標高：約160m、立地：丘陵、地目：学校用地

試掘区 事業予定地に4箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 42.2m<sup>2</sup>

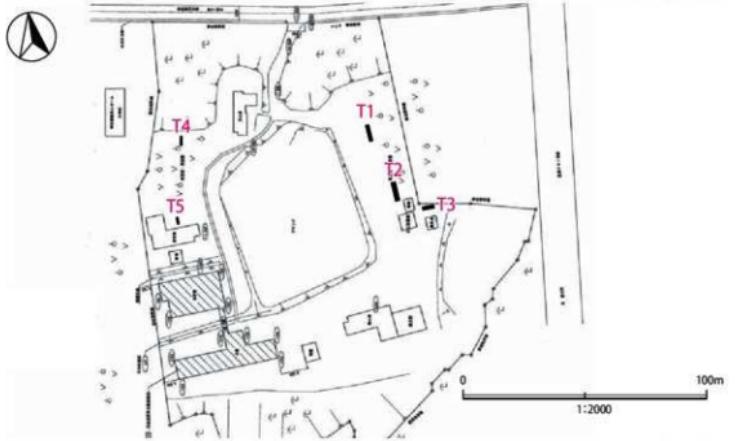
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 平安時代

所見 事業予定地は、現朝日学園敷地内である。事業予定地のうち藤田遺跡の範囲に該当するのは北西の一部分のみであるが、遺跡隣接箇所であることから、その他の部分についても併せて試掘調査を実施した。

事業地内にトレンチ5箇所を設定して調査を行ったところ、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ1～4では、表土直下約10～30cmで地山層が確認されたことから、各トレンチ周辺は過去の敷地造成等の際に削平されているものと判断された。トレンチ5では、約120cmの盛土が堆積し、盛土下層には粘土層が堆積する状況が確認された。以上の結果から、藤田遺跡の範囲に該当する事業予定地北西の範囲は過去に削平されており、遺跡の痕跡は残っていないと判断された。



藤田遺跡 トレンチ配置図

T1 (cm)	
1	-20
2	-35
3	

1.黒褐色シルト（表土）  
2.灰黄褐色砂質シルト  
3.浅黄色砂質シルト、  
　　灰白色シルトブロックを含む

T2 (cm)	
1	-30
2	

1.黒褐色シルト（表土）  
2.浅黄色砂質シルト、  
　　灰白色シルトブロックを含む

T3 (cm)	
1	-25
2	-50

1.黒褐色シルト（表土）  
2.浅黄色砂質シルト、  
　　灰白色シルトブロックを含む

T4 (cm)	
1	-25
2	-50

1.黒褐色シルト（表土）  
2.浅黄色砂質シルト、  
　　灰白色シルトブロックを含む

T5 (cm)	
1	-60
2	-120
3	-160

1.灰黄褐色シルト、 $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫を含む（盛土）  
2.青灰色シルト、 $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫を含む（盛土）  
3.暗灰色粘土

藤田遺跡 土層図



T 1 全景(南から)



T 1 断面(西から)



T 3 全景(西から)



T 3 断面(南から)



T 5 全景(南から)



T 5 断面(南東から)

(8) 須川地区H-2路線

所 在 地 山形県山形市中野

調 査 員 稲村圭一 長橋至 岩崎恒平

調査期日 令和元年12月17・20・24日

起因事業 最上川上流河川改修事業（須川地区）

遺跡立地 標高：約97m、立地：沖積地、地目：河川

試 挖 区 事業予定地に10箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 172.8m<sup>2</sup>

検出遺構 竪穴建物跡、溝状遺構、土坑、柱穴

出土遺物 須恵器片、土師器片

時 代 一

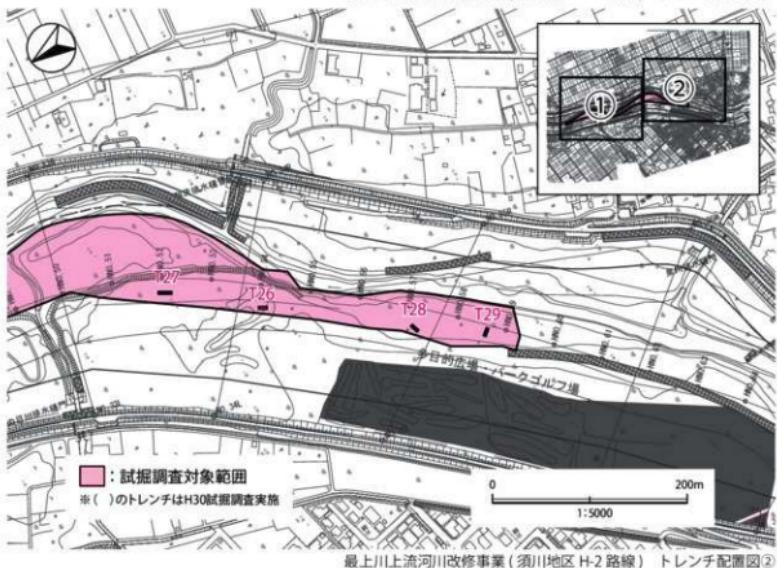
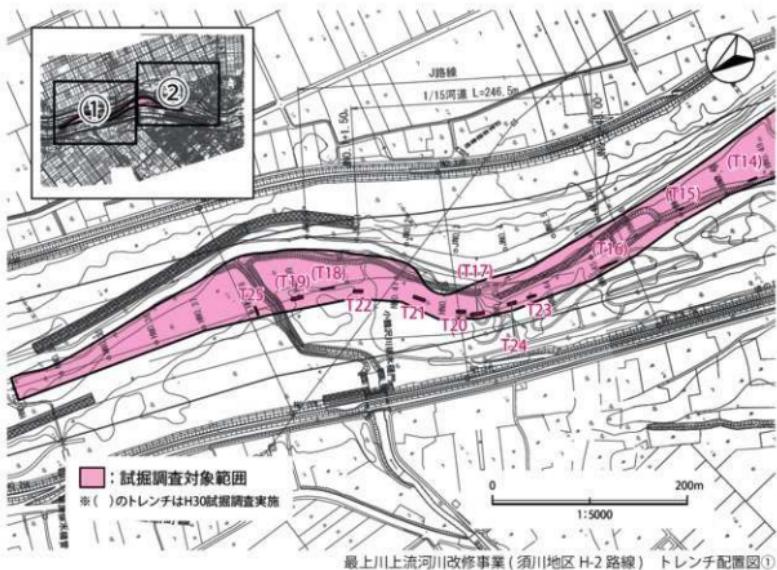
所 見 最上川上流河川改修事業（須川地区）に起因して、事業予定地のうちH-2路線について試掘調査を実施した。須川沿いには多くの遺跡が位置し、過去の須川改修事業に係る遺跡詳細分布調査においても新たな遺跡を確認している。このたびの事業予定地は樹木等が生い茂り踏査ができないことから、遺跡や遺跡可能性地を把握するための試掘調査を実施した。

なお、今回の試掘調査は、平成30年度に実施した試掘調査において、遺構・遺物が確認された場所について、その周辺をさらに詳細に把握するための追加調査と、上流部分の新規の試掘調査である。

事業予定地に約50m毎に10箇所のトレンチを設定し、遺構・遺物の有無を確認した。調査の結果、平成30年度に遺構・遺物が確認されたエリアを中心にトレンチ20、21、22、24及び上流部のトレンチ6で遺構・遺物が確認された。

トレンチ20では溝跡、土坑、柱穴が確認された。トレンチ21では土坑、柱穴のほか、竪穴建物跡の可能性がある土色変化が確認された。また、トレンチ22においても、焼土を作う竪穴建物跡と考えられる遺構を検出した。トレンチ24では、溝跡、柱穴が検出された。そのほかのトレンチにおいては遺構・遺物は確認されなかった。遺構・遺物が確認されなかった各トレンチでは、ビニール片等を含む砂礫層が繰り返し堆積している様子が確認された。

以上の結果から、事業予定地のうち、H-2路線の一部（工事用杭No.39～44付近）については遺構・遺物が確認されたため、工事に際しては保存のための協議が必要となる。



## II 調査の概要

T 20 (cm)	
1	65
2	80
3	90
4	100

1.灰黄褐色シルト  
2.黄灰色シルト  
3.黒褐色シルト  
4.にぶい黄褐色シルト

T 21 (cm)	
1	25
2	40
3	90
4	

1.表土  
2.褐色シルト、植物根を含む  
3.灰黄褐色シルト  
4.灰黄褐色シルト、3層に比してやや明るい

T 22 (cm)	
1	-10
2	-20
3	-30
4	-45
5	-65
6	-85
7	-90

1.表土  
2.砂利層  
3.褐色土、固くしまる（造成土）  
4.灰黄褐色シルト  
5.褐色シルト  
6.黒褐色シルト  
7.にぶい黄褐色シルト

T 23 (cm)	
1	90
2	-100
3	-125
4	-130
5	-160
6	-180

1.表土  
2.暗青灰色砂  
3.暗褐色シルト、ビニール片含む  
4.暗青灰色砂質シルト  
5.暗褐色シルト  
6.青灰色砂

T 24 (cm)	
1	-30
2	-65
3	-85
4	-95
5	

1.表土  
2.暗褐色シルト（盛土）  
3.暗褐色粘土（盛土）  
4.黑色シルト（遺物を含む）  
5.暗褐色砂質シルト

T 25 (cm)	
1	-30
2	-20
3	-55

1.表土  
2.暗褐色粘質シルト  
3.青灰色粘土

T 26 (cm)	
1	-40
2	-60
3	-90
4	

1.表土  
2.褐色砂  
3.暗褐色粘質シルト  
4.灰褐色粘質シルト

T 27 (cm)	
1	-30
2	-70
3	-80
4	

1.表土  
2.褐色砂質シルト、暗褐色粘質土  
3.黒褐色粘土  
4.灰褐色粘質シルト

T 28 (cm)	
1	-50
2	-90
3	-130
4	

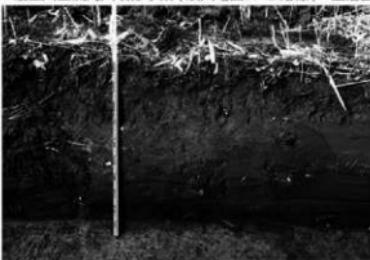
1.表土  
2.暗褐色砂質シルト  
3.灰褐色砂質シルトと褐色砂質シルト  
の混合層  
4.灰褐色砂質シルト

T 29 (cm)	
1	-20
2	-35
3	-60
4	

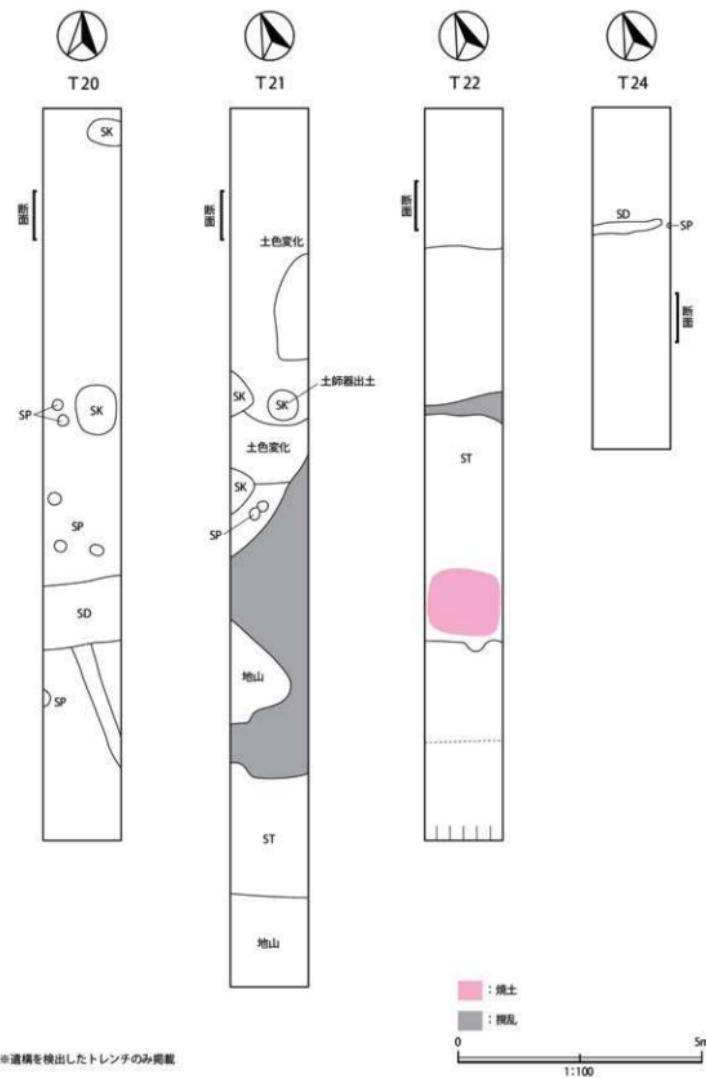
1.表土  
2.褐色砂  
3.灰褐色粘質土、褐色砂ブロック  
を含む  
4.灰褐色砂質シルト



T 20 全景(南から)



T 20 断面(東から)



最上川上流河川改修事業(H-2路線) 道構検出平面図



T 20 溝跡、柱穴検出状況 ( 北東から )



T 20 土坑、柱穴検出状況 ( 北東から )



T 21 全景 ( 南西から )



T 21 断面 ( 南東から )



T 21 竪穴建物跡検出状況 ( 東から )



T 21 遺構検出状況 ( 北から )



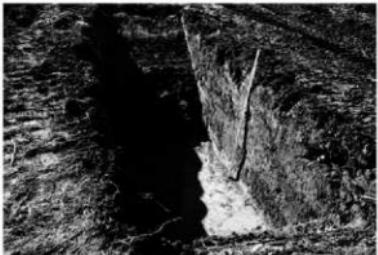
T 22 全景 ( 北から )



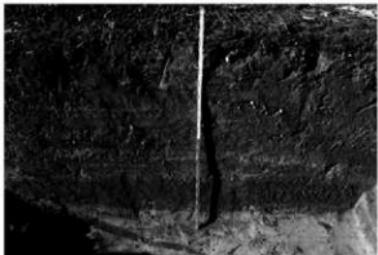
T 22 全景 ( 東から )



T 22 竪穴建物跡検出状況（南西から）



T 23 全景（南から）



T 23 全景（西から）



T 24 全景（南から）



T 24 断面（西から）



T 24 溝跡検出状況（西から）



T 25 全景（東から）



T 25 断面（北から）



T 26 全景 (東から)



T 26 断面 (北から)



T 28 断面 (東から)



T 28 全景 (南から)



T 29 全景 (南から)



T 29 断面 (東から)



T22 出土遺物



T22 積穴建物跡出土遺物

## (9) 須川地区M路線

所在地 山形県山形市志戸田

調査員 竹田純子 長橋至

調査期日 令和元年12月26日

起因事業 最上川上流河川改修事業（須川地区）

遺跡立地 標高：約96m、立地：沖積地、地目：河川

試掘区 事業予定地に6箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 86.4m<sup>2</sup>

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 最上川上流河川改修事業（須川地区）に起因して、事業予定地のうちM路線について試掘調査を実施した。須川沿いには、多くの遺跡が位置し、過去の須川改修事業に係る遺跡詳細分布調査においても新たな遺跡を確認しているが、事業予定地は樹木等が生い茂り踏査ができないことから、遺跡や遺跡可能性地を把握するための試掘調査を実施した。トレンチ6箇所を設定し、重機で表土を除去後、人力で遺構・遺物の有無を確認した。その結果、各トレンチとも盛土の様相を呈し、遺構・遺物は確認されなかった。当該路線範囲内に遺跡は所在しないものと判断された。

T1 (cm)	
1	-20
2	-155
3	3.灰白色粘質シルト、酸化鉄を含む

T2 (cm)	
1	-10
2	-20
3	3.灰白色粘質シルト、酸化鉄を含む

T3 (cm)	
1	-55
2	-110
3	3.褐灰色砂

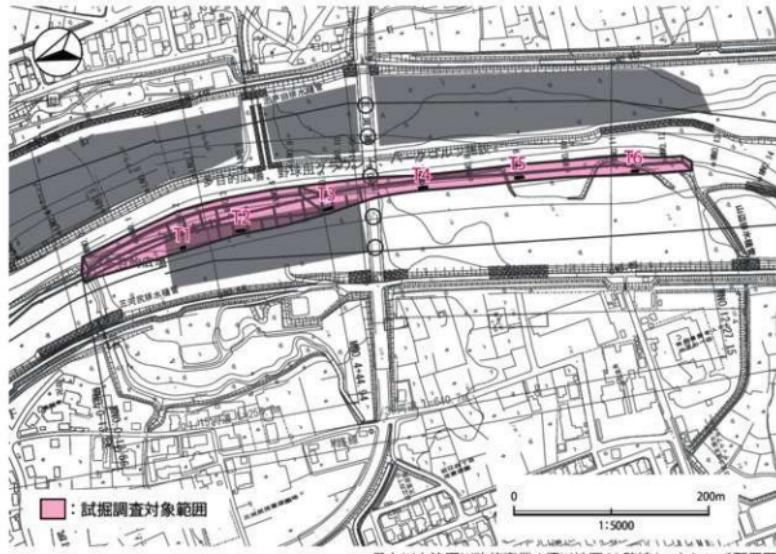
T4 (cm)	
1	-30
2	-55
3	3.黄褐色粘質シルト、酸化鉄を少量含む
4	-70
5	-80
6	4.黄褐色砂
5	-100
6	5.黒褐色粘質シルト
10	-120
	6.褐灰色砂

T5 (cm)	
1	-20
2	2.黒色・灰色・白色土の混合層（埋土）
3	-40
3	3.黄褐色砂（埋土）
4	-75
4	4.黄褐色砂、酸化鉄を含む（埋土）
5	-90
5	5.黒色粘土、灰色粘土が混じる、人頭大の礫を含む（埋土）
6	-120
6	6.褐灰色粘質シルト

T6 (cm)	
1	-40
2	1.表土
2	2.灰色シルト、砂・酸化鉄を含む（埋土）
3	-80
3	3.にぶい黄褐色砂（埋土）
3	-105
4	4.灰色粘土、褐色シルトが混じる（埋土）
4	-160
5	5.褐灰色粘土（埋土）
5	-170

最上川上流河川改修事業（須川地区 M 路線）土層図

## II 調査の概要



T 1 全景（北から）



T 1 断面（東から）



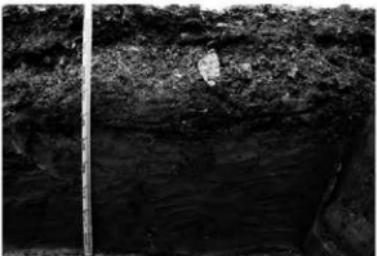
T 2 全景（北から）



T 2 断面（東から）



T 3 全景 (北から)



T 3 断面 (東から)



T 4 全景 (北から)



T 4 断面 (東から)



T 5 全景 (南から)



T 5 断面 (東から)



T 6 全景 (南から)



T 6 断面 (東から)

## (10) 須川地区Ⅰ路線(月山遺跡)

所在地 山形県山形市中野

調査員 竹田純子 長橋至 岩崎恒平

調査期日 令和2年1月7日

起因事業 最上川上流河川改修事業(須川地区)

遺跡立地 標高:約96m、立地:沖積地、地目:河川

試掘区 事業予定地に6箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 100m<sup>2</sup>

検出遺構 溝状遺構、土坑、柱穴

出土遺物 須恵器片、土師器片

時代 古墳時代、平安時代

所見 最上川上流河川改修事業(須川地区)に起因して、事業予定地のうちⅠ路線について試掘調査を実施した。須川沿いには、多くの遺跡が位置し、過去の須川改修事業に係る遺跡詳細分布調査においても新たな遺跡を確認しているが、事業予定地は樹木等が生い茂り踏査ができないことから、遺跡や遺跡可能性地を把握するための試掘調査を実施した。月山遺跡については、事業が遺跡に与える影響を確認するための試掘調査を実施した。周知の遺跡である「月山遺跡」の範囲のうち、長さ約200m、幅約10mを主に調査対象とした。下流側の遺跡範囲以外は現在の須川流路に近く、遺跡は存在しないものと判断された。

トレンチ5箇所を設定し、重機で表土を除去後、人力で遺構・遺物の有無を確認した。その結果、トレンチ3では溝状遺構、土坑が複数基検出され、遺構の覆土からは土師器片が出土した。また、トレンチ5では柱穴と考えられる土色変化が確認された。トレンチ1・2・4では擾乱等が認められ、遺構・遺物は確認されなかった。

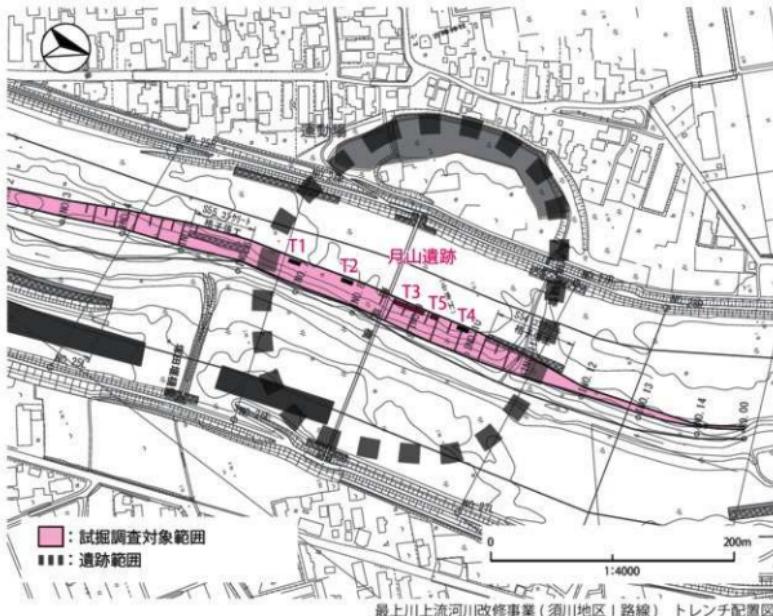
以上の結果から、今回の調査ではトレンチ3・5において遺構・遺物が確認され、月山遺跡の範囲内で部分的に遺構・遺物が遺存することが明らかとなった。



T1全景(南から)



T1断面(西から)



T1 (cm)

1	-20	1.表土
2	-40	2.褐灰色シルト
3	-50	3.浅黄色シルト
4	-50	4.褐灰色シルト
4	-60	5.黄灰色シルト、灰白色粘質土を含む
5	-80	6.褐灰色シルト、にぶい黄褐色シルト・酸化鉄を多く含む
6	-100	7.褐灰色砂質シルト、酸化鉄を多く含む
7	-105	

T3 (cm)

1	-10	1.表土
2	-20	2.褐灰色シルト、灰色シルトを含む
3	-30	3.灰黄褐色シルト

T4 (cm)

1	-15	1.表土
2	-30	2.褐灰色シルト
3	-40	3.褐灰色シルト、黒色粘質土・灰色粘質土が混じる（擾乱）
4	-70	4.灰黄褐色シルト、黒色粘質土・浅黄色土が混じる（擾乱）

T2 (cm)

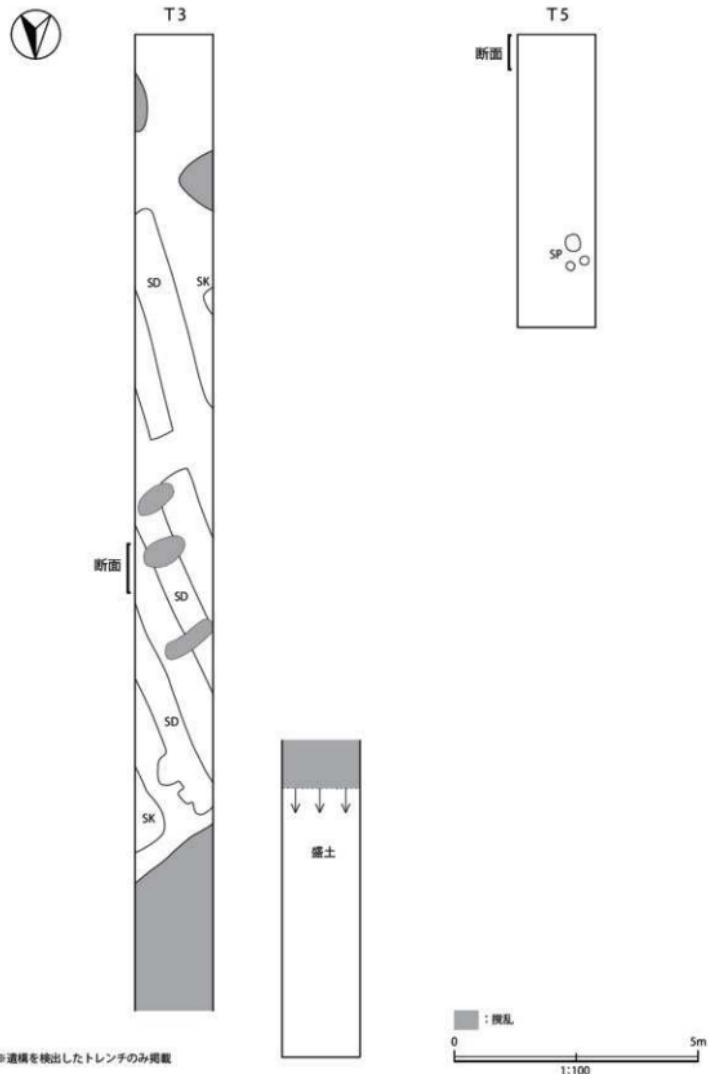
1	-15	1.表土
2	-25	2.黄褐色シルト
3	-45	3.黄灰色シルト
4	-45	4.黄灰色シルト、灰白色粘質土を含む
4	-55	5.黄灰色シルト、灰白色粘土を含む、しまり強い
5	-70	6.褐灰色シルト、にぶい黄褐色シルト・酸化鉄を多く含む
6	-90	7.褐灰色砂質シルト、酸化鉄を多く含む
7	-100	

T5 (cm)

1	-20	1.表土
2	-40	2.褐灰色シルト黑色粘質土・灰色粘質土が混じる（擾乱）
3	-60	3.褐灰色シルト、にぶい黄色土・灰色土を含む
4	-80	4.黄灰色砂質シルト、酸化鉄を含む

最上川上流河川改修事業（須川地区Ⅰ路線・月山遺跡）土層図

## II 調査の概要



\*遺構を検出したトレッセのみ掲載

最上川上流河川改修事業(須川地区Ⅰ路線・月山遺跡) 遺構検出平面図



T 2 全景 (南から)



T 2 断面 (西から)



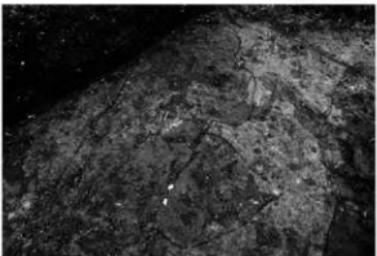
T 3 全景 (南西から)



T 3 断面 (西から)



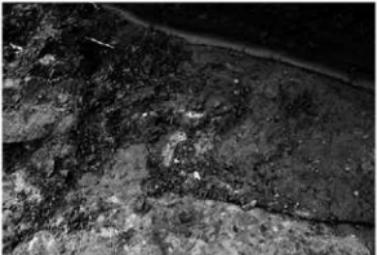
T 3 溝状遺構検出状況 (南東から)



T 3 溝状遺構・土坑検出状況 (南東から)



T 3 土坑検出状況 (南東から)



T 3 土坑遺物出土状況 (南東から)



T 3 北側拡張部溝状遺構検出状況（南東から）



T 3 北側盛土確認状況（南西から）



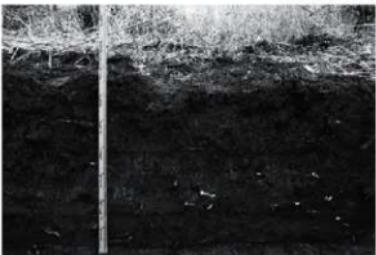
T 4 全景（南から）



T 4 断面（東から）



T 5 全景（南から）



T 5 断面（西から）



T 3 溝跡出土遺物



T 3 土坑出土遺物

## (11) 須川地区 J 路線

所在地 山形県山形市大字船町

調査員 長橋至 岩崎恒平

調査期日 令和2年1月10日

起因事業 最上川上流河川改修事業（須川地区）

遺跡立地 標高：約94m、立地：沖積地、地目：河川

試掘区 事業予定地に4箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 38.4m<sup>2</sup>

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 最上川上流河川改修事業（須川地区）に起因して、事業予定地のうちJ路線について試掘調査を実施した。須川沿いには、多くの遺跡が位置し、過去の須川改修事業に係る遺跡詳細分布調査においても新たな遺跡を確認しているが、事業予定地は樹木等が生い茂り踏査ができないことから、遺跡や遺跡可能性地を把握するための試掘調査を実施した。路線内に約50m毎に4箇所のトレンチを設定し、遺構・遺物の有無を確認した。調査の結果、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかった。各トレンチとも最深部で2m程度まで掘り下げを行ったが、ビニール片等を含む砂疊層が繰り返し堆積している様子が確認された。当地に遺跡は所在しないものと判断された。

T1 (cm)

1	-40	1.表土
2	-70	2.にぶい黄褐色シルト
3	-100	3.にぶい黄褐色シルト、ビニール片含む
4	-120	4.黄灰褐色砂、酸化鉄を多く含む
5	-135	5.褐色砂
6	-150	6.褐灰色砂、礫・酸化鉄を多く含む

T3 (cm)

1	-30	1.表土
2	-60	2.にぶい黄橙色砂質シルト
3	-70	3.にぶい黄橙色砂質シルト、砂を含む
4	-85	4.黄灰褐色砂質シルト
5	-110	5.にぶい黄橙色砂
6	-120	6.にぶい黄橙色砂、にぶい黄褐色粘土を含む
7	-130	7.褐灰色砂

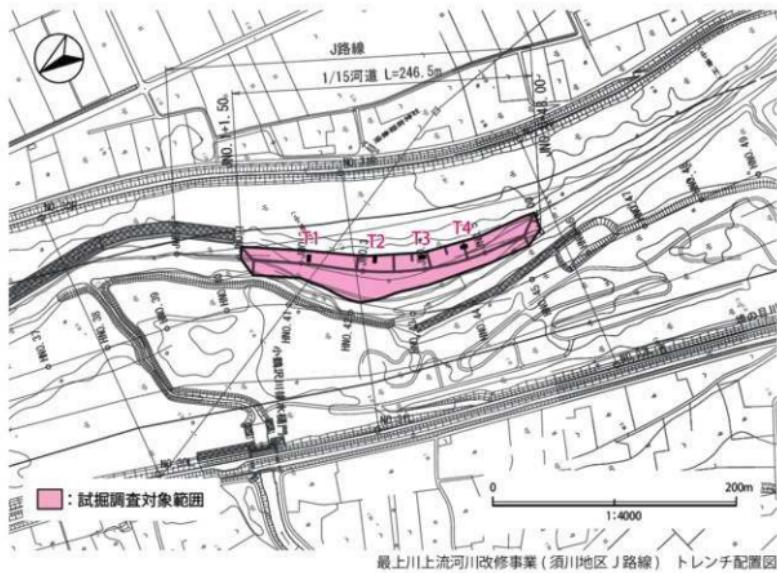
T2 (cm)

1	-30	1.表土
2	-75	2.にぶい黄褐色砂質シルト
3	-100	3.にぶい黄褐色砂質シルト、褐色粘土を含む
4	-130	4.にぶい黄褐色砂質シルト、5層との境界に黒色粘土を帶状に含む
5		5.褐灰色砂、礫・酸化鉄を多く含む

T4 (cm)

1	-40	1.表土
2	-80	2.にぶい黄橙色シルト、砂を含む
3	-95	3.にぶい黄橙色砂
4	-115	4.褐灰色砂
5	-130	5.にぶい黄橙色シルト、砂を含む

最上川上流河川改修事業（須川地区 J 路線）土層図



## (12) 一般国道 13 号新庄金山道路 遺跡可能性地 1

所在 地 山形県金山町山崎

調査員 竹田純子 長橋至

調査期日 令和元年 8 月 19 日

起因事業 一般国道 13 号新庄金山道路

遺跡立地 標高：141 m、立地：段丘、地目：田

試掘区 事業予定地に 3箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 27.2m<sup>2</sup>

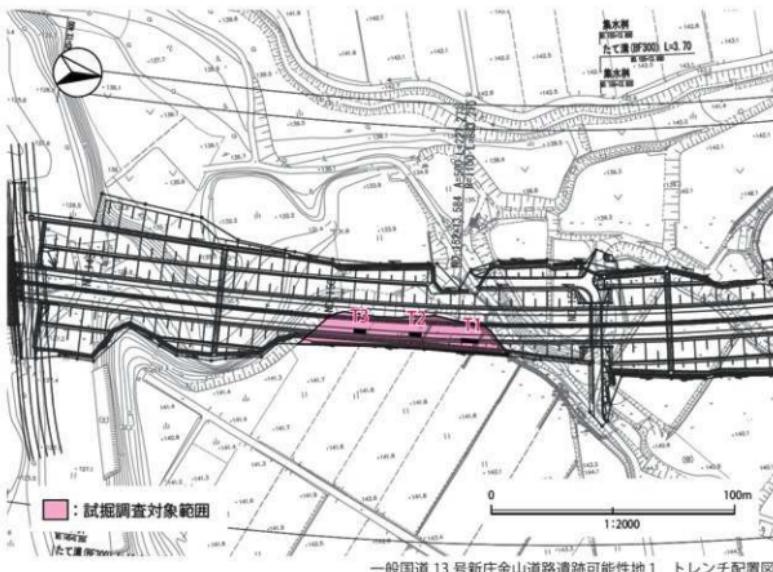
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 事業予定地内に 3箇所のトレンチを設定し、試掘調査を実施した。調査の結果、いずれのトレンチでも遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ 1 では約 1 m の客土が確認されたが、トレンチ 2・3 では削平されている様子が確認され、水田の区画整理で切盛土が行われたと考えられる。

以上の結果から、今回の試掘調査範囲内に遺跡は存在しないものと判断された。



T1 (cm)	
1 -16	1.表土
2 -40	2.黒褐色土、礫を多量に含む(客土)
3 -85	3.褐灰色土、礫を多量に含む(客土)
4 -110	4.灰色粘土、礫を含む(客土)
5 -120	5.灰白色粘土(客土)
6 -142	6.黒褐色粘土、灰色粘土が混じる(客土)
7 -150	7.灰色土、鉄分を含む、ビニールが 混じる(客土)
8 -180	8.黒色シルト
9	9.黄褐色シルト

T2 (cm)	
1 -20	1.表土
2 -35	2.黒褐色シルト、礫を多量に含む
3 -65	3.黄褐色砂礫層

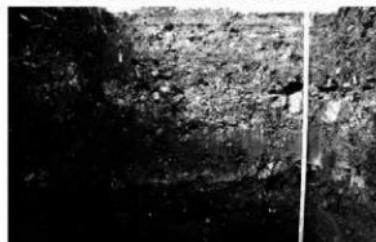
  

T3 (cm)	
1 -4	1.表土
2 -40	2.黄褐色砂礫層

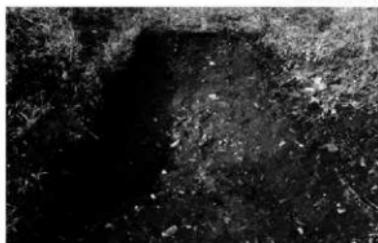
一般国道 13 号新庄金山道路遺跡可能性地 1 土層図



T1全景(南から)



T1断面(南から)



T2全景(南から)



T2断面(東から)



T3全景(南から)



T3断面(東から)

## (13) 一般国道 13 号新庄金山道路 遺跡可能性地 2

所在地 山形県金山町山崎

調査員 竹田純子 長橋至

調査期日 令和元年 8 月 19 日

起因事業 一般国道 13 号新庄金山道路

遺跡立地 標高：145 m、立地：段丘、地目：田

試掘区 事業予定地に 3 箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 73.6m<sup>2</sup>

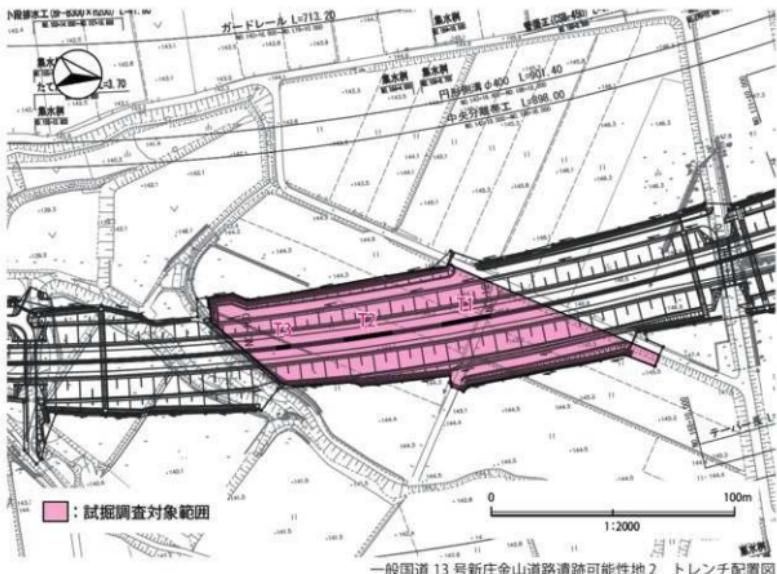
検出遺構 なし

出土遺物 繩文土器、剥片

時代 一

所見 事業予定地内にトレンチを 3 箇所設定し、遺構・遺物の有無について精査した。その結果、遺構は確認されなかったが、表土から縄文土器片・頁岩の破片等が出土したほか、トレンチ 3 の 5 層から縄文土器片が出土したが、土層の堆積状況から流れ込みによるものと考えられる。

以上の結果から、当地に遺跡は所在しないものと判断された。



T1 (cm)	
1	-16
2	-30
3	-46

- 1.表土
- 2.黒褐色シルト、礫を多量に含む
- 3.黄褐色砂礫層

T2 (cm)	
1	-4
2	-40
3	

- 1.表土
- 2.黒褐色シルト、礫を多量に含む
- 3.黄褐色砂礫層

T3 (cm)	
1	-20
2	-50
3	-70
4	-100
5	-150
6	

- 1.表土
- 2.黒褐色土、礫を少量含む(客土)
- 3.暗褐色粘土と灰色粘土が混じる(客土)
- 4.暗褐色粘質土(客土)
- 5.黒色粘土、礫を少量含む
- 6.黄褐色砂礫層

一般国道 13 号新庄金山道路遺跡可能性地 2 土層図



T 1 全景(北から)



T 1 断面(東から)



T 2 全景(北から)



T 2 断面(東から)



T 3 全景(南から)



T 3 出土遺物

## (14) 一般国道 13 号新庄金山道路 遺跡可能性地 3

所在 地 山形県金山町朴山

調査員 竹田純子 長橋至

調査期日 令和元年 11月 29 日

起因事業 一般国道 13 号新庄金山道路

遺跡立地 標高：162 m、立地：谷底平野・氾濫原、地目：田

試掘区 事業予定地に 6箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 35.2m<sup>2</sup>

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 当地は、令和元年 10 月 16 日に実施した踏査で確認された遺跡可能性地であり、遺跡の有無の確認を目的として試掘調査を実施した。

事業予定地内にトレンチを 6 箇所設定し、遺構・遺物の有無について精査したところ、いずれのトレンチでも遺構・遺物は確認されなかった。以上の結果から、当地に遺跡は所在しないものと判断された。



## II 調査の概要

T1 (cm)	
1	-13 1.耕作土
2	-38 2.暗褐色粘土、黄褐色土と灰色土が 混じる
3	-62 3.黒褐色粘土
4	4.灰白色粘土

T4 (cm)	
1	-20 1.耕作土
2	-50 2.暗褐色粘土、黄褐色土と黒褐色土が 混じる
3	3.灰白色粘土

T2 (cm)	
1	-15 1.耕作土
2	-27 2.暗褐色粘土、黄褐色土と灰色土が 混じる
3	-62 3.黒褐色粘土
4	4.灰白色粘土

T5 (cm)	
1	-20 1.耕作土
2	-28 2.黒褐色シルト、灰白色粘土が混じる
3	-50 3.黒褐色粘土
4	4.灰白色粘土

T3 (cm)	
1	-25 1.耕作土
2	-38 2.暗褐色粘土、黄褐色土と灰色土が 混じる
3	-47 3.黒褐色シルト
4	-60 4.黒褐色粘土
5	5.灰白色粘土

T6 (cm)	
1	-14 1.耕作土
2	-25 2.黒褐色シルト
3	-40 3.黒褐色シルト、灰白色シルトが混じる
4	4.灰白色粘土

一般国道 13 号新庄金山道路遺跡可能性地 3 土層図



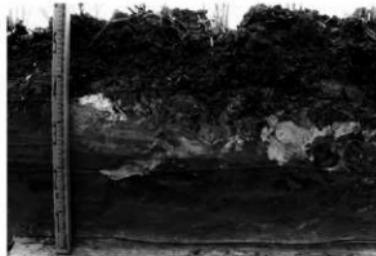
T1 全景 (北から)



T1 断面 (東から)



T2 全景 (北から)



T2 断面 (東から)



T3 全景(北から)



T3 断面(東から)



T4 全景(北から)



T4 断面(東から)



T5 全景(北から)



T5 断面(東から)



T6 全景(北から)



T6 断面(東から)

## (15) 物見峠C遺跡

所 在 地 山形県遊佐町吹浦字物見峠

調 査 員 竹田純子

調査期日 令和元年 12月 17 日

起因事業 一般国道7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：約10～14m、立地：丘陵、地目：山林

試 挖 区 事業予定地に4箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 37.9m<sup>2</sup>

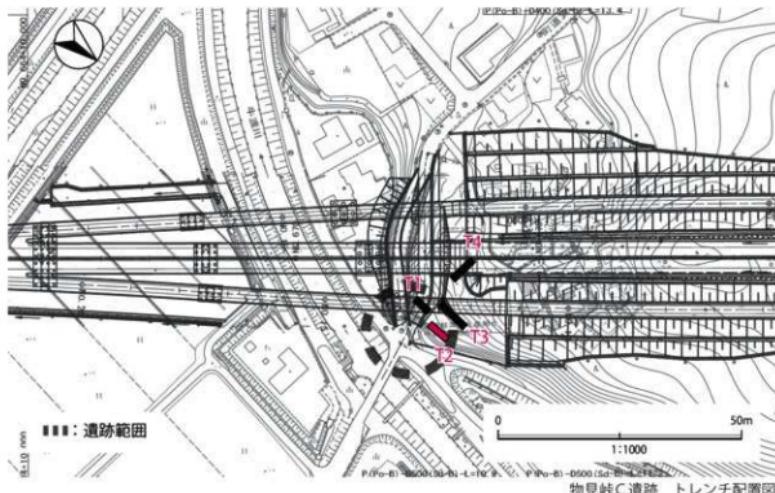
検出遺構 なし

出土遺物 繩文土器、石器片

時 代 繩文時代

所 見 当遺跡は、JR羽越本線吹浦駅から東に直線で約700m、物見峠と呼ばれる丘陵の南端に位置する。当遺跡の東には小山崎遺跡（縄文時代・国指定史跡）、南西には吹浦遺跡（縄文時代・県指定史跡）が位置している。

事業予定地内にトレンチを4箇所設定し、遺構・遺物の有無について精査したところ、トレンチ2で表土及び2層から縄文土器片・石器片が出土した。当遺跡は丘陵の南端に位置しており、これら遺物は丘陵上からの流れ込みと考えられる。現在、丘陵上には周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）は登録されていないが、遺跡が所在する可能性があるため、当地を「遺跡可能性地」とし、次年度以降に試掘調査を実施予定。



T1	(cm)
1	-10
2	

1.表土  
2.黄褐色粘質シルト

T3	(cm)
1	-20
2	-30
3	

1.表土  
2.褐色粘質シルト、黒色土混じる  
植物根多い  
3.黄褐色粘質シルト

T2	(cm)
1	-20
2	-35
3	

1.表土  
2.褐色粘質シルト、黒色土混じる  
植物根多い  
3.黄褐色粘質シルト

T4	(cm)
1	-20
2	

1.表土  
2.黄褐色粘質シルト

物見峠C遺跡 土層図



T 1 全景 (南西から)



T 1 断面 (北西から)



T 2 全景 (南から)



T 2 断面 (南西から)



T 4 全景 (南西から)



T 2 出土遺物

## (16) 上長根遺跡

所 在 地 山形県遊佐町吹浦字上長根

調 査 員 竹田純子

調査期日 令和元年 12月 24 日

起因事業 一般国道 7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：約 42～50 m、立地：丘陵、地目：畑

試 挖 区 事業予定地に 4箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 38.4m<sup>2</sup>

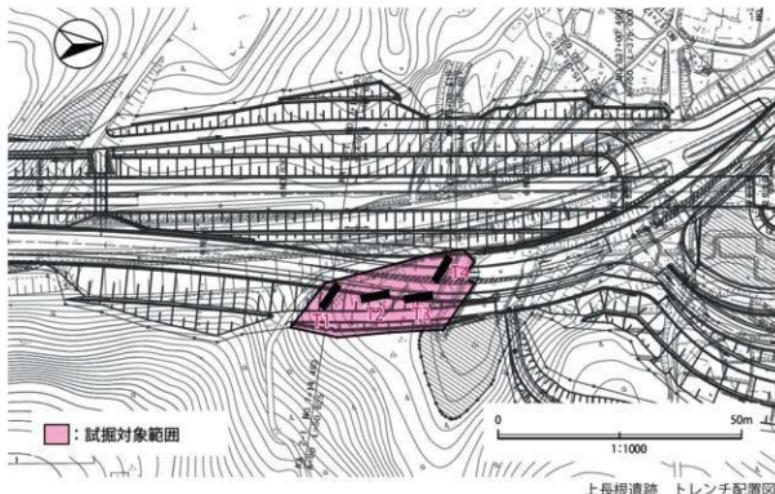
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時 代 平安時代

所 見 当遺跡は、JR 羽越本線女鹿駅から南に直線で約 500 m、国道 7号線とその東側に広がる遺跡である。当遺跡のすぐ北には、水ノ上遺跡（縄文・平安時代）、弥陀之上遺跡（縄文・平安時代）が位置する。

事業地に 4箇所のトレンチを設定し、重機で掘削した後、人力で遺構・遺物の有無を精査したところ、いずれのトレンチでも遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ 1・2 では砂が厚く堆積しており、客土の可能性が高い。トレンチ 4 では、トレンチ 3 で確認された 2 層も存在せず、削平されている。もともとは起伏のある地形であったが、国道 7号線建設にあたり、隣接地である当地も整地された可能性がある。



T1 (cm)	
1	30
2	-110

1.表土  
2.砂(客土か)  
※1m以上砂が続くため、掘下げ中止

T3 (cm)	
1	22
2	-40
3	-

1.表土  
2.黒色シルト  
3.黄褐色粘質シルト

T2 (cm)	
1	-160

1.表土  
※1.5m以上砂が続くため、掘下げ中止

T4 (cm)	
1	-30
2	-

1.表土  
2.黄褐色粘質シルト

上長根遺跡 土層図



T 1 全景(西から)



T 1 断面(北東から)



T 2 断面(北から)



T 2 断面(西から)



T 4 全景(西から)



T 4 断面(北から)

## (17) 水ノ上遺跡

所 在 地 山形県遊佐町吹浦字水ノ上

調 査 員 竹田純子

調査期日 令和元年12月24日、令和2年1月7日

起因事業 一般国道7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：35～40m、立地：丘陵、地目：畠

試 挖 区 事業予定地に5箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 60.8m<sup>2</sup>

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時 代 繩文時代、平安時代

所 見 当遺跡は、JR羽越本線女鹿駅から南に直線で約400m、国道7号線とその東西に広がる遺跡である。当遺跡の南には上長根遺跡（平安時代）、北には弥陀之上遺跡（繩文・平安時代）が位置する。今回の試掘対象地（3工区部分）は国道7号線の東側であり、段々状に造成されている。

遺跡と遺跡隣接地に5箇所のトレンチを設定し、重機で掘削した後、人力で遺構・遺物の有無を精査したところ、いずれのトレンチでも遺構・遺物は確認されなかった。



T1 (cm)	
1	-15
2	28
3	-47
4	47

T3 (cm)	
1	-23
2	43
3	

T5 (cm)	
1	-10
2	25
3	40
4	

T2 (cm)	
1	-15
2	27
3	45
4	

T4 (cm)	
1	-20
2	33
3	

水ノ上遺跡 土層図



T1全景(南から)



T1断面(西から)



T4断面(北から)



T4断面(西から)



T5全景(西から)



T5断面(南から)

## (18) 弥陀之上遺跡

所在地 山形県遊佐町字弥陀之上

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和2年1月7日、3月13日

起因事業 一般国道7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：約25～28m、立地：丘陵、地目：宅地、畑、山林

試掘区 事業予定地に4箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 40m<sup>2</sup>

検出遺構 なし

出土遺物 土師器片

時代 繩文時代、平安時代

所見 当遺跡は、県ホームページで公開中の「山形県遺跡地図」では、JR羽越本線女鹿駅から南に直線で約200m、国道7号線の東西に広がる遺跡である。当遺跡の南には、水ノ上遺跡（縄文・平安時代）、弥陀之上遺跡（縄文・平安時代）が位置する。

事業に係る遺跡内及び旧地形が残ると考えられた遺跡隣接地に4箇所のトレンチを設定し、重機で掘削した後、人力で遺構・遺物の有無を精査した。

試掘調査の結果、トレンチ2の落ち込みから土師器片が出土した。またトレンチ1・3では遺物を含む土層を確認した。当地とその東・北側に遺跡が広がる可能性があることから、今後当該地について試掘調査を実施し、遺跡の広がりを確認する必要がある。

また、当遺跡は「山形県遺跡地図」上の位置と、遺跡が登録された際の分布調査報告書（山形県埋蔵文化財調査報告書第45集 分布調査報告書（8）1981）に記載された遺跡の地番（弥陀之上21・22番地）とが異なる状況であり、今回試掘調査を実施したのは県遺跡地図上の弥陀之上遺跡とその隣接地である。弥陀之上遺跡の最終的な位置や範囲については、次年度以降に実施する試掘調査が終了した段階で判断することとした。

T1 (cm)	
1	-12
2	-22
3	-38
4	-55
5	

1.表土  
2.暗褐色粘質シルト  
3.黒褐色シルト、遺物細片を含む、  
しまり強い  
4.黒褐色シルト、にぶい黄褐色土・  
遺物を含む  
5.にぶい黄褐色粘質シルト

T3 (cm)	
1	-10
2	-25
3	-40
4	

1.表土  
2.黒褐色シルト、にぶい黄褐色土粒・  
遺物細片を含む  
3.黒褐色シルト、にぶい黄褐色土粒を  
含む  
4.にぶい黄褐色粘質シルト

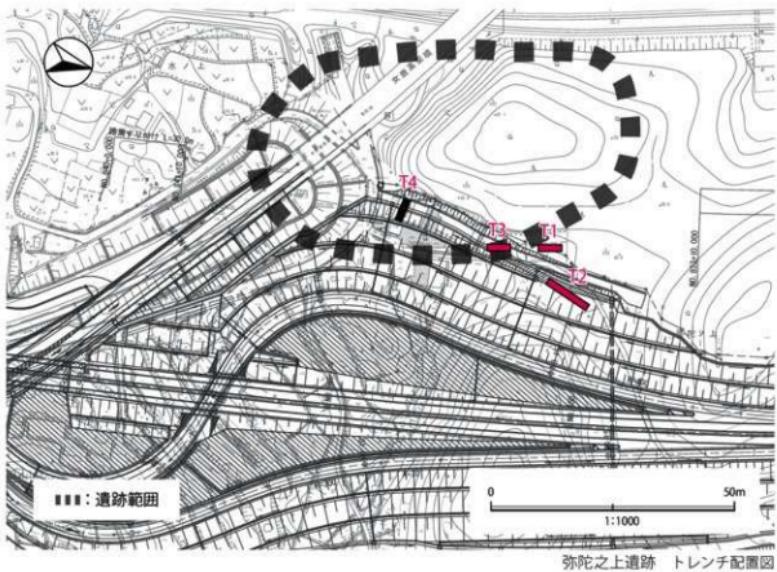
T2 (cm)	
1	-15
2	-50
3	

1.表土  
2.黒褐色シルト、にぶい黄褐色土粒を含む  
3.にぶい黄褐色粘質シルト

T4 (cm)	
1	-150
2	

1.盛土  
2.灰黄褐色細砂

弥陀之上遺跡 土層図



弥陀之上遺跡 トレンチ配置図



T 1 全景(東から)



T 1 断面(西から)



T 2 全景(北から)



T 2 断面(東から)



T 2 南壁断面(北から)



T 2 落込み箇所(南西から)



T 3 全景(北から)



T 3 断面(東から)



T 4 全景(南から)



T 3 断面(北東から)



T 1 出土遺物



T 2 出土遺物

## (19) 水林下遺跡

所在 地 山形県遊佐町字水林下

調査 員 竹田純子 長橋至 岩崎恒平

調査期日 令和元年 10月 11日、11月 6・20日、12月 3日

起因事業 一般国道7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：23 m、立地：山地・丘陵、地目：山林

試掘 区 事業予定地に 14箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 187.68m<sup>2</sup>

検出遺構 柱穴、土坑

出土遺物 土師器片、須恵器片

時代 繩文時代

所見 当地は、女鹿漁港から東に約 300 m の丘陵である。現況は、畑地・杉林である。事業地内に 14箇所のトレンチを設定し、重機で掘削した後、人力で遺構・遺物の有無を精査した。

トレンチ 1 は北西から南東方向へ斜面する畑地に設定した。傾斜変換点では、複数の人頭大の礫が配置されたように確認され、畑地法面の石積みである可能性が高いが、時期は不明である。斜面下には遺物包含層が存在するが、斜面上では削平されている。

トレンチ 2 の北西端は攪乱を受けている。南東部分（トレンチの約半分）では人頭大の礫が多数確認された。トレンチ 3・4 では、トレンチ 1 で確認された遺物包含層（黒褐色シルト）と同じ層が全体的に削平を受けている様子が確認された。

トレンチ 5～9・14 では、遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ 1 の斜面下の 2 層（遺物包含層）と同じ黒色土が確認されたトレンチもあるが、遺物は含まれなかった。

トレンチ 10 は 3 分の 2（北西側）は削平されている。南東部には遺物包含層が存在し、南東に位置するトレンチ 11 に続いている。

トレンチ 11・12 では、遺物包含層と柱穴・土抗と考えられる遺構を確認した。

トレンチ 13 では、遺物包含層は削平されているが、複数の人頭大の石と遺構の可能性がある土色変化（黒褐色土）を確認した。

試掘調査の結果、古代（平安時代）と考えられる遺構・遺物・遺物包含層を確認した。当遺跡は縄文時代の遺跡として登録されているが、縄文時代・古代の複合遺跡であることが判明した。

当事業の実施にあたり、遺構（遺構の可能性がある土色変化含む）・遺物・遺物包含層が確認された範囲については、令和 2 年度に発掘調査を実施予定。



T1 (cm)		
1	-27	1.表土
2	-52	2.黒褐色シルト（遺物包含層）
3		3.明黄褐色粘質シルト（地山）

T4 (cm)		
1	-20	1.表土
2		2.明黄褐色粘質シルト（地山）

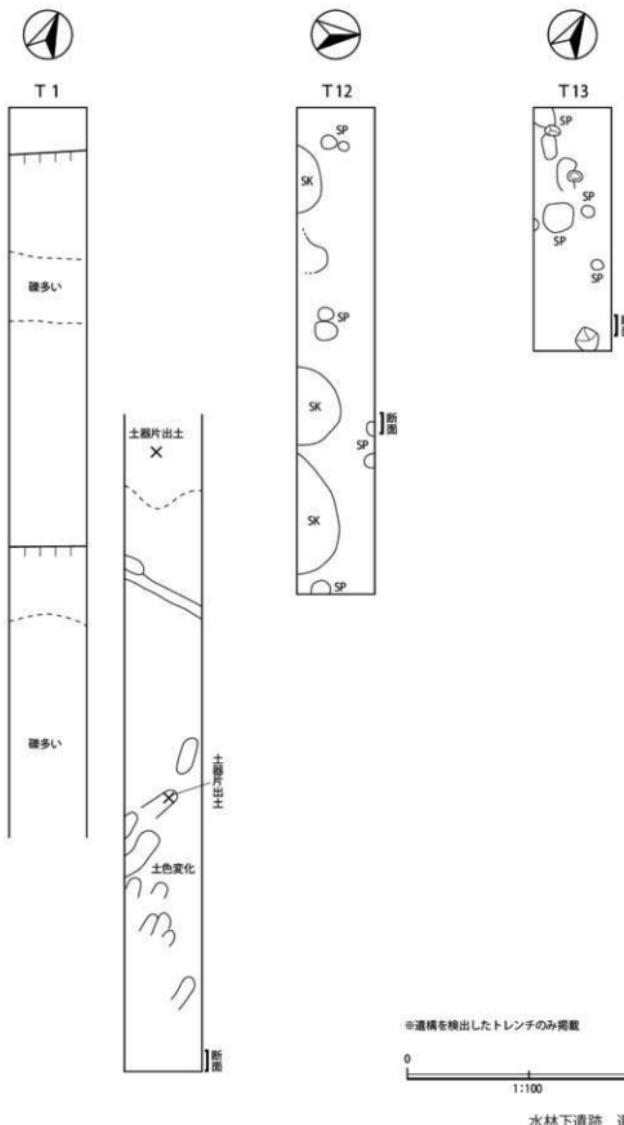
T2 (cm)		
1	-12	1.表土
2	-24	2.黒褐色シルト、炭を少量含む
3	-40	3.暗褐色シルト
4	-70	4.黒褐色シルト
5		5.明黄褐色粘質シルト（地山）

T5 (cm)		
1	-35	1.表土
2	-40	2.黒色シルト
3	-70	3.褐灰色シルト
4		4.にぶい黄橙色粘土質シルト（地山）

T3 (cm)		
1	-18	1.表土
2		2.明黄褐色粘質シルト（地山）

T6 (cm)		
1	-60	1.表土
2	-70	2.黒色シルト
3		3.にぶい黄橙色シルト（地山）

水林下遺跡 土層図



T7 (cm)	
1	-40
2	-60
3	

1.表土  
2.黒色シルト  
3.褐色粘土質シルト(地山)

T11 (cm)	
1	-10
2	-40
3	

1.表土  
2.黒褐色シルト(遺物包含層)  
3.明黄褐色粘土質シルト(地山)

T8 (cm)	
1	-60
2	-70
3	

1.表土  
2.褐色粘土質シルト  
3.にぶい黄褐色粘土質シルト(地山)

T12 (cm)	
1	-23
2	-58
3	

1.表土  
2.黒褐色シルト(遺物包含層)  
3.明黄褐色粘土質シルト(地山)

T9 (cm)	
1	-50
2	-80
3	-90
4	

1.表土  
2.黒褐色シルト  
3.褐色シルト  
4.にぶい黄褐色シルト(地山)

T13 (cm)	
1	-20
2	

1.表土  
2.明黄褐色粘土質シルト(地山)

T10 (cm)	
1	-5
2	-35
3	

1.表土  
2.黒褐色シルト(遺物包含層)  
3.明黄褐色粘土質シルト(地山)

T14 (cm)	
1	-10
2	-40
3	-70
4	

1.表土  
2.黒褐色シルト  
3.黒褐色粘土質シルト  
4.明黄褐色粘土質シルト(地山)



T 1 全景(南東から)

水林下遺跡 土層図  
T 1 断面(南西から)

T 2 全景(北西から)



T 2 断面(南西から)



T 3 全景 (北西から)



T 3 断面 (南西から)



T 5 全景 (北から)



T 5 断面 (東から)



T 7 全景 (西から)



T 7 断面 (南から)



T 8 全景 (東から)



T 8 断面 (西から)



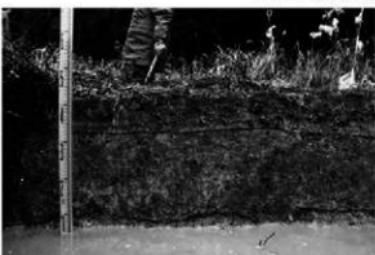
T 9 全景(東から)



T 9 断面(東から)



T 10 全景(北西から)



T 10 南東部断面(北西から)



T 11 全景(南西から)



T 11 断面(北西から)



T 12 全景(東から)



T 12 断面(南から)



T 12 遺構検出状況



T 12 遺構検出状況



T 13 全景(北西から)



T 13 断面(南西から)



T 13 遺構検出状況(南西から)



T 13 遺構検出状況(南西から)



T 11 出土遺物



T 12 出土遺物

### 3 工事立会調査の概要

#### (1) 米沢城東二の丸跡

所在地 山形県米沢市丸の内

調査員 長橋至 岩崎恒平

調査期日 令和元年9月17・24日、10月8日、11月1・7・13・19日

起因事業 交通安全道路事業（交付金）（主）米沢猪苗代線交差点改良工事

遺跡立地 標高：約248m、立地：扇状地、地目：宅地・道路用地

試掘区 事業予定地内の側溝設置個所を調査対象とした。

試掘方法 重機で遺構検出面まで掘り下げた後、人力で面整理を行った。その後、検出した遺構の記録を実施した。

試掘面積 一

検出遺構 柱穴

出土遺物 なし

時代 中世、近世

所見 事業対象地は、米沢城東二の丸跡として遺跡登録されている。開発側と調整の結果、面積が狭小であり、事前の試掘調査が不可能であったことから、側溝設置時に工事に立ち会うこととした。工事の進捗に合わせて、立ち合いは7回に分けて実施した。

側溝設置予定地について、長さ約110m、工事掘削幅1.2～1.6m、表土から80～100cmの深さまで重機で掘削後、人力で遺構遺物の有無を確認した。

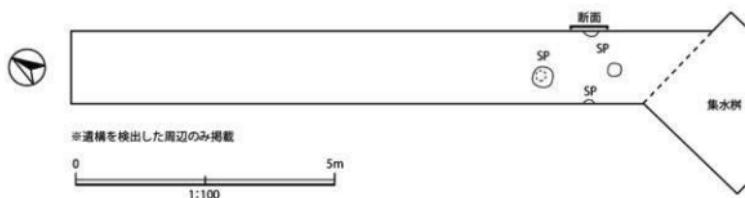
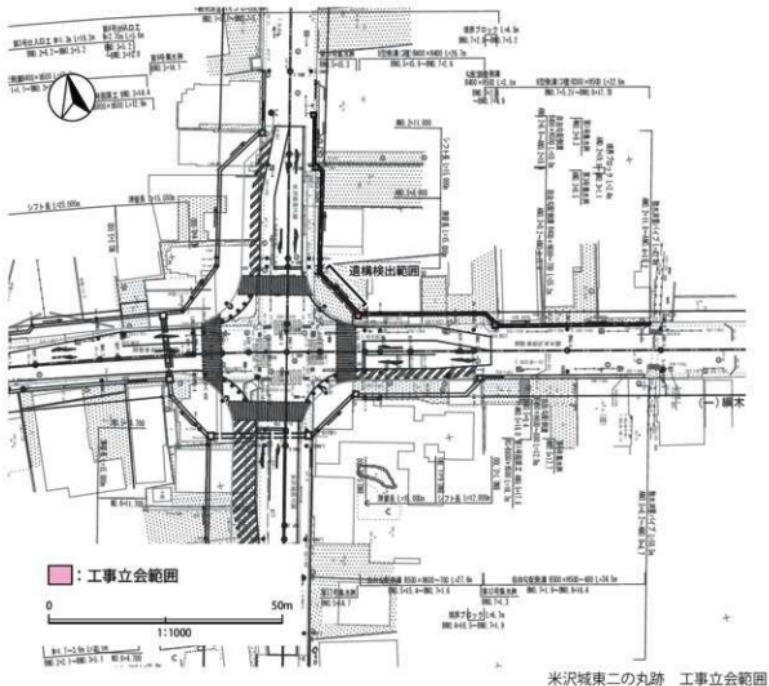
その結果、対象地のうち約3m区間で遺構確認面が遺存し、4基の柱穴が確認された。遺物の出土がないため、遺構の時期は不明である。

その他の立会箇所については、大部分が擾乱されており、遺構・遺物は確認されなかつたほか、地山が残る部分においても米沢城東二の丸跡に関連する遺構は検出されなかつた。

遺構が検出された範囲において、掘削は遺構検出面以下には及ばず、工事による遺構の破壊はないため、平面図・写真等の記録を作成後、工事着工を可とした。

		(cm)
1	-12	1. 砂石
2	-55	2. 黄灰色シルト（盛土）
3	-80	3. 黄灰色シルト、焼土・炭化物を含む (盛土)
4	-100	4. にぶい黄褐色粘質シルト、黄灰色 シルトを含む
5		5. にぶい黄褐色粘質シルト

米沢城東二の丸跡 土層図



米沢城東二の丸跡 遺構検出平面図



遺構検出範囲全景(南から)



遺構検出箇所断面(西から)



柱穴検出状況(東から)



柱穴検出状況(北から)



掘削作業状況(南から)



掘削作業完了状況(東から)



掘削作業完了状況(南東から)



掘削作業完了状況(南から)

## 第Ⅲ章 遺跡の登録と修正

### 1 範囲修正

令和元年度に範囲修正を行った遺跡は5件であり、いずれも市町教育委員会及び県教育庁からの届出によるものである。詳細については、新規登録の遺跡と併せて、「令和元年度範囲修正遺跡一覧」として掲載した。

### 2 新規登録

令和元年度に新規登録された遺跡は6件あり（6～11）、いずれも市町教育委員会及び県教育庁からの届出によるものである。

これにより、年度末までに登録されている遺跡は5,209件を数える事になった。

なお、現在「山形県遺跡地図」（県 WebPage 掲載）の「市町村の遺跡一覧」に修正履歴や調査履歴などを掲載する改善作業を行なっている。

#### 令和元年度範囲修正・新規登録遺跡一覧

区分	No.	遺跡名 (番号)	所在地	種別	時期	通知文書他	届出者	地図名
範囲修正	1	藤田遺跡 (324-014)	大江町	窯跡	平安時代	2019年8月27日文生第886号山形県教委	山形県	左沢
	2	中野城跡 (210-300)	山形市	城館跡	—	2019年10月1日文生第1040号山形県教委	山形県	山形北部
	3	日向洞窟 (381-309)	高畠町	住居跡	縄文時代(草創期～晩期)、弥生時代、古墳時代	2019年9月2日教社第300号高畠町教委	高畠町教委	赤湯
	4	御蔭前遺跡 (209-233)	長井市	散布地	縄文時代	2019年11月22日教文第331号長井市教委	長井市教委	長井
	5	杉沢C遺跡 (461-145)	遊佐町	集落跡	縄文時代、中世、近世	2019年12月23日文生第1623号山形県教委	山形県	吹浦
新規登録	6	常万遺跡 (422-046)	庄内町	散布地	奈良・平安時代	2019年4月16日文生第120号山形県教委	山形県	藤島
	7	本郷遺跡 (210-212)	天童市	集落跡	平安時代	2019年4月24日教生第124号天童市教委	天童市教委	寒河江
	8	麓山中世陶器出土 土地(204-107)	酒田市	その他 の墓	中世	2019年8月2日酒教社発第218号酒田市教委	酒田市教委	羽後観音寺
	9	工藤家屋敷跡 (209-232)	長井市	城館跡	中世	2019年9月5日教文第241号長井市教委	長井市教委	長井
	10	藤木遺跡 (207-069)	上山市	集落跡	縄文時代、奈良時代	2019年10月1日教生第114号上山市教委	上山市教委	上山
	11	幸生古屋敷遺跡 (206-087)	寒河江市	集落跡	縄文時代	2019年12月19日生学第1208号寒河江市教委	寒河江市教委	海味



1 藤田遺跡



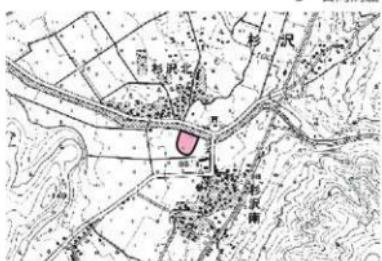
2 中野城跡



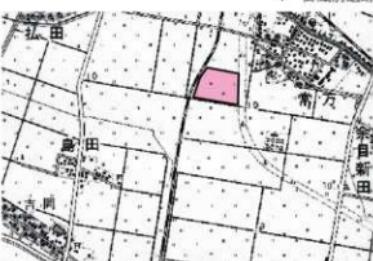
3 日向洞窟



4 御蔵前遺跡



5 杉沢C遺跡



6 常万遺跡



7 本郷遺跡



8 麓山中世陶器出土地



9 工藤家屋敷跡



10 藤木道跡



11 幸生古屋敷遺跡

## 掲載遺跡位置図使用図幅一覧（2万5千分の1）

No.	遺跡名	地図名
1	農地整備事業（経営体育成型）（鶴子六沢地区）	延沢
2	細谷館跡	上山
3	農地整備事業（経営体育成型）（平岡3期地区）	羽前金山
4	新田平岡遺跡	羽前金山
5	農地整備事業（経営体育成型）（平岡2期地区）	羽前金山
6	農地整備事業（経営体育成型）（真室川北部1期地区）	及位
7	農地整備事業（経営体育成型）（漆山地区）	羽前小松
8	農業水利施設保全高度化事（上萩野地区）	米沢北部
9	農地整備事業（経営体育成型）（成田地区）（遺跡可能性地1）	長井
10	常万遺跡	藤島
11	杉沢B遺跡	吹浦
12	杉沢C遺跡	吹浦
13	大城跡	貫見
14	米沢城東二の丸跡	米沢
15	清水北遺跡	富並、延沢
16	鶴ヶ岡城跡	鶴岡
17	古佐川河川改修単独事業（河川自然災害防止）	寒河江
18	薬師館跡	古口
19	藤田遺跡	左沢
20	寒河江工業高等学校改築整備事業	寒河江
21	五反田遺跡	余目
22	明沢川発電所	小国東部
23	最上川上流河川改修事業（須川地区）H-2路線	山形北部
24	最上川上流河川改修事業（須川地区）M路線	山形北部
25	最上川上流河川改修事業（須川地区）I路線	山形北部
26	最上川上流河川改修事業（須川地区）J路線	山形北部
27	最上川上流河川改修事業（糠野日地区）	赤湯、糠野目
28	一般国道13号新庄金山道路（新庄市昭和～金山町朴山）	羽前金山
29	一般国道13号新庄金山道路（遺跡可能性地1）	羽前金山
30	一般国道13号新庄金山道路（遺跡可能性地2）	羽前金山
31	一般国道13号新庄金山道路（遺跡可能性地3）	羽前金山
32	一般国道13号金山道路	羽前金山
33	一般国道13号真室川雄勝道路	及位

## 掲載遺跡位置図使用図幅一覧(2万5千分の1)

No.	遺跡名	地図名
34	物見岬C遺跡	吹浦
35	上長根遺跡	小砂川2
36	水ノ上遺跡	小砂川2
37	弥陀之上遺跡	小砂川2
38	水林下遺跡	小砂川2
39	三崎遺跡	小砂川2
40	最上川直轄河川改修事業(最上川中流)	古口
41	上川原沢第2砂防堰堤(立谷沢砂防)	清川
42	仲村沢砂防堰堤(赤川砂防)	上田沢
43	国営かんがい排水事業(西野排水機場)	酒田南部
44	国営かんがい排水事業(北楯大堰用水路(放水路))	清川
45	倉手山館跡	羽黒山、木の沢
46	城の平遺跡	叶水
範囲修正	藤田遺跡	左沢
	中野城跡	山形北部
	日向洞窟	赤湯
	御藏前遺跡	長井
	杉沢C遺跡	吹浦
新規登録	常万遺跡	藤島
	本郷遺跡	寒河江
	麓山中世陶器出土地	羽後觀音寺
	工藤家屋敷跡	長井
	藤木遺跡	上山
	幸生古屋敷遺跡	海味

## 報告書抄録

ふりがな	ぶんぶちょうさほうこくしょ 47									
書名	分布調査報告書(47)									
副書名										
シリーズ名	山形県埋蔵文化財調査報告書									
シリーズ番号	第226集									
編著者名	竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平 山科樹生									
編集機関	山形県									
所在地	〒990-8570 山形県山形市松波二丁目8番1号 TEL 023-630-2879									
発行年月日	2021年3月31日									
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード	北緯	東経	発掘期間	発掘面積 m <sup>2</sup>	発掘原因			
杉沢C遺跡	山形県 遊佐町 杉沢	6461	461-145	39° 00' 40"	139° 57' 57"	2019.11.15 2019.11.21 2019.12.09	228.75	試掘調査		
水林下遺跡	山形県 遊佐町吹浦 字水林下	6461	461-078	39° 06' 18"	139° 52' 53"	2019.10.11 2019.11.06 2019.11.20 2019.12.03	187.68	試掘調査		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項					
杉沢C遺跡	集落跡	縄文時代、中世、近世	土坑、ピット	縄文土器 近世陶磁器	(出土品箱数: 1箱)					
水林下遺跡	集落跡	縄文時代、平安時代	土坑、ピット、遺物包含層	土師器	(出土品箱数: 1箱)					
要約	杉沢C遺跡	事業予定地内にトレント16箇所を設定して調査を実施した結果、トレント10～13、15～17で遺構を検出し、トレント12・13・15・16で遺物が出土した。近世の遺構・遺物が確認された範囲はトレント10・11・13～15の一部、及び17を含む範囲となる。近世の遺構・遺物については、「北之坊組宝前坊」と関係する可能性がある。								
	水林下遺跡	事業予定地内に14箇所のトレントを設定して調査を行った結果、トレント1・2、10～13において、古代(平安時代)と考えられる遺構・遺物・遺物包含層を確認した。当遺跡は縄文時代の遺跡として登録されているが、縄文時代・古代の複合遺跡であることが判明した。								

山形県埋蔵文化財調査報告書第 226 集  
分布調査報告書 (47)

令和 3 年 3 月 31 日 発行

発行 山形県  
印刷 坂部印刷株式会社

